

破産法案外一件特別委員小委員會會議事速記録第八號

大正十一年二月十三日(月曜日)午前十時十八分開會

○委員長(伯爵松平賴壽君) 前會ニ引續キマシテ委員會ヲ開キマス、前會ノ節ニ三百二十九條、三百三十條ノコトニ付テ當局ニ於テ御研究ニナッテ御話ニナルト云フコトデアリマシタガ、御調べニナリマシタガ

○藤田四郎君 ソレハ矢吹サンガ御出デニナッテカラ……
○委員長(伯爵松平賴壽君) ソレデハ是ハ後ニ矢吹サンガ御見エニナッテカラ——第十一章全部ヲ願ヒマス

○政府委員(池田寅二郎君) 第十一章ハ小破産ニ關スル特別規定ヲ設ケタモノデアリマス、財國ノ額ガ比較的僅少デアリマスレバ、關係者モ割合ニ少ナイデアリマセウシ手續ヲ簡單ニシマシテ、其費用並ニ時間ヲ省クト云フ必要ガアリマスカラ、特ニ小破産ト云フ標題ノ下ニ特別ノ規定ヲ置カレタノデアリマス、先ヅ財國ガ一萬圓以下一萬圓未滿位ノモノニ付テ小破産ト云フ特別ヲ適用スルト云フコトニ致シタ譯デアリマス、破産決定ヲイタシマス共ニ小破産ノ手續ヲスルト云フコトニ決定ヲ併セテイタシマス、サウシテ之ヲ公告イタシマス、ソレカラ通知書ニ其事ヲ書付ケルト云フコトガ三百五十八條ノ規定スル所デアリマス、ソレカラ普通ノ手續デ以テ破産ヲ執行イタシマシテ其途中ニ於テ金額ガ如何ニモ小破産ト云フコトガ分カテ來マシタ時ニハ矢張便宜上小破産ノ決定ヲスル途ヲ開イテ置ク必要モアルト思ヒマス、之ガ三百五十九條ノ規定ヲ置カレタ譯デアリマス、先ヅ其場合ニ小破産ノ決定ヲイタシマシテ、ソレヲ公告スルナリ、管財人其他ニ書面ヲ書付ケテ送ルト云フノハ前例ノ通りデアリマス、ソレカラ一旦小破産ノ手續ヲ進行イタシマシテ居リマス中ニ、矢張其額ガ多少多イト云フコトガ分カテ參リマシタ時ニハ矢張便宜上更ニ小破産ノ決定ヲ取消シテ普通破産ニ移ル所ノ途ヲ開イテ置ク必要ガアルト云フコト矢張三百六十條ノ規定ヲ置カレタ譯デアリマス、小破産ノ決定ヲスル、或ハ小破産ヲ止メテ普通破産ニ移ルト云フノハ全ク手續上ノコトデアリマス、裁量ニ任セバキ事柄デアリマスカラ、裁判所ノ決定ヲ以テ之ヲ定メテ仕舞フ、不服ノ申立ヲ許サナイト云フコトガ三百六十一條ノ規定デアリマス、ソレデ三百六十二條、即チ小破産ノ手續ノ一ツノ特色ヲ茲ニ示シテ居リマス、即チ第一回ノ債權者集會或ハ債權調査ノ期日ト云フモノハ先ヅ之ヲ一結ニナルト云フコトヲ原則トスル、ソレデ以テ手續ノ進捗ヲ圖ル、已ムヲ得ヌ場合ニハソレヲ別ニスルガ大體

ハ一結ニスルト云フノガ三百六十二條デアリマス、三百六十三條ハ矢張小破産ノ特別ノ監査委員ハ之ヲ置カナリ、破産管財人トソレカラ裁判所、ソレカラ債權者集會、之ダケノ機關ヲ決定セタト云フコトニナル、其債權者集會ハ成ルベク之ヲ省略スルコトニイタシマシテ、最モ重要ナ事項ヲ決議シスル所ノ會議デアリマス、第一回ノ債權者集會、ソレカラ強制和議ノ取消ノ後ノ第一回……之ハ破産決定ノ時ノ第一回ニ相當スル債權調査、計算報告ナリ、或ハ強制和議ハ認ムルヤ否ヤト云フコトニ付テノ總會ト云フヤウナ事柄ハ之ハ集會デアリマスガ、此以外ノ總會ト云フモノハ開カナイト云フコトニイタシマシタ、其場合ニハ裁判所ガ直接判決イタスノデアリマス、裁判所ノ決定ヲ以テ手續ヲ運シタ行クト云フコトニイタシタ譯デアリマス、ソレカラ三百六十五條モ小破産ノ特別デアリマス、即チ中間配當ヲ止シテ仕舞ヒ、一遍ニ配當ヲシテ仕舞フ、併ナガラ其配當ノ後ニ更ニ財産ガ出來テ參リマシタ時ニハ追加配當ヲスルノハ之ハ差支ナイ、然ラザル限リ先ヅ一回ノ配當ヲ以テ終ル、ソレカラ三百六十六條モ矢張小破産ノ特別デアリマシテ、公告ノ手續ヲ省クト云フ意味デアリマス、即チ新聞紙ノ公告、官報ノ公告ヲ止メマシテ之ハ裁判所、或ハ役場ニ揭示スルト云フコトニ止メルト云フノガ三百六十六條ノ規定デアリマ

○委員長(伯爵松平賴壽君) 如何デスカ、小破産ノ御質問ヲ願ヒタイ

○藤田四郎君 三百五十八條デハ一萬圓ニ滿タナイト認メタ時ニハ必ズ小破産ノ決定ヲ要スルト云フ非常ニ嚴格ナル規定ニナッテ居リマスガ若シ一萬圓以上ダトカ、何モ分ラズニ小破産ノ手續ヲシテ進行シテ居ラタ後ニ發見シタ時ニハ決定スルコトヲ得、斯ウ云フ風ニナッテ居リマス、本文ノ精神カラ云ヘバ矢張發見シタ時ニハ小破産ノ方ニ直セト云フコトニナラナイト筋合ガ分ラナイデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 手續ヲ進捗シマシタ其程度等ニ依リマシテ便宜上其儘デ進行スル方ガ可ナリトスレバソレデ宜イ、斯ウ云フ主義デアリマス

○藤田四郎君 三百五十八條ハ一體本文ノ之ヲ要スト云フコトハ強過ギルデハナイノデセウカ、五十九條、六十條ノヤウナ具合ニ認メタ時ニハ矢張小破産ノ決定ヲナスコトヲ得ト云フ規定デアリデハナイデセウカ

○政府委員(池田寅二郎君) 便宜ニ從ッテ處理スルノハ勿

論ノコトデアリマスケレドモ、ソレガ可ナリトスレバ是非左様ニシナケレバナラナイト云フコトノ自ラ意味ハ違入ッテ居ルト思ッテ居リマス三百五十八條ノ要スト云フコトニイタシマシタガ、寧ロ破産決定ヲイタシマス同時ニ小破産ノ決定ト云フモノヲ先ヅ其時ニヤレト云フコトノ意味マデ幾分カ其處ニ加ハッテ參リマシタ時ニ特ニ要スト云フコトヲ書イテ居ルノデアリマス

○藤田四郎君 併シ小破産ヲシナケレバナラヌト云フコトニ付テ、之ハセンナラヌ、破産決定ヲシタラ必ズ小破産ノ方ノ手續ヲヤラナケレバナラヌト云フコトニ解スベキモノデアウト思ヒマス、御説明ニ柔カニ見ルコトガ出來ナイノヂヤナイカト思ヒマス

○政府委員(池田寅二郎君) 三百五十八條ノ方ハ矢張小破産ノ手續ヲシナケレバナラヌ、決定スルト同時ニ之ヲヤラナケレバナラヌト云フ二ツカ其處ニ重ナッテ居リマス、矢張小破産ニシテモ宜シケレバ普通破産ニシテモ宜イト云フ意味ハ三百五十八條ニハ違入ッテ居ラナイノデスカ

○藤田四郎君 宜シウゴザイマス

○男爵矢吹省三君 私チヨット遅刻イタシマシタノデスカ先日伺ヒマシタコトニ付テ御返事ヲ此場合ニ御述ベニナリマスカ、又後デ……

○委員長(伯爵松平賴壽君) 今丁度破産ケケ濟ミマシタ後デ……先程其話ガ出マシタガ、御留守デゴザイマシタカラ後ニ廻シマシタ、……別ニ御質問ゴザイマセヌケレバ後ニ戻リマシタ、今矢張男爵ノ御話ノアリマシタ三百二十九條、三百三十三條ニ付マシテ政府委員ノ御答辯ヲ願ヒタウゴザイマス

○政府委員(池田寅二郎君) 前同ニ矢吹男爵ヨリ強制和議ガ不正ノ方法ニ依ッテ、成立チマシタ場合ニ和議其モノノ取消ヲ認メ得ルノハ如何ナ譯デアラウカト云フ趣旨ノ御尋デアリマシタノデアリマスガ之ニ付イテ御答ヲイタシマス、此強制和議ヲイタシマスルニ付マシテ殊更提起者ガ眞面目デナケレバナラヌ譯デアリマスガ、不正ノ方法デ強制和議ト云フモノガ出來ルヤウナコトニナリマシテハ之ハ甚ダ面白クナイコトハ勿論ノコトデアリマス、ソレデ不正ノ方法ガ行ハレタト云フコトガ認可、不認可ノ決定ヲイタシマスル際ニ裁判所ニ現ハレテ居リマスレバ、是ハ無論裁判所ノ方デ其事態ニ鑑ミマシテ、或ハ之ヲ認可スルト云フコトモシナケレバナラヌ譯デアリマス、ソレハ即チ三百十條ノ三號

ニ依テ決定メテアル所デアリマス、所ガ一旦強制和議ト云フモノガ茲ニ成立シマシテ、其實行ニ遣入リマシタ後ニ於テ其コトガ分カテ参リマシタ時ニハ、其事情ト云フモノガ大分變ハテ居リマス、色々ノ關係カ和議ニ依テ極マデ、ソレニ從テドシ、實行シツアルト云フ際ニ依テ居ルノデアリマス、カラソコデ之ガ詐欺破産デアルト云フヤウナ事デアレバ、是ハ其破産ノ根本ヲ覆ス必要モアリマス、カラ、強制和議ノ取消ト云フコトモ必要デアリマス、然ラザル限り個々ノ債權者ト云フモノガソレニ依テ、自分ノ見込ニ依テ讓歩ヲ取消スト云フコトハ、是ハ先ヅ然ルベキコトデアリマス、併ナガラ大體ノモノハ其和議デ以テ實行シタ、斯フ云フ考デ居リマス、場合ニハ、二ノ請求ニ依リマシテ全部ノ取消スト云フコトハ少シ過ギテ居ルマイカスフ云フヤウナ所カラシテ讓歩ノ取消ト云フコト止メラレテ居ル次第デアリマス、大體左様ニ御承知ヲ願ヒマス

○男爵矢吹省三君 モウ一ツ此間伺フタノハ……

○政府委員(池田寅二郎君) ソレモ只今……

○男爵矢吹省三君 サウデスカ、只今ノ點ニ付テ此讓歩ヲ取消シテ讓歩ノナイ状態ニナル、併ナガラ其分ニ付テハ強制和議履行完了ノ後デナクチヤ其權利ヲ行フコトガ出來ナイト云フコトガ三三十一條ノ二項ニゴザイマス、サウズルト最後ニ至ラナケレバ讓歩ヲ取消シタ人ノ、權利ノ主張ガ出來ナイコトニナル、其最後ニ何物モ殘ラナイ場合ガ多イノデヤナイカト思フ、サウスルト讓歩ヲ取消スト云フコトハ畢竟不利益ダト云フコトハ最初カラ豫想サレハシナイカト思フノデ實際ニ一部ノ者ニミ強制和議ノ讓歩ヲ取消スト云フコトニシテ置クト云フコトハ、サウ云フ不正ノ所以タ場合ニ、其不正ニ依テ不利益ヲ蒙ル債權者ヲ救フ所以デナイデハナイカト思フノデ、寧ロ斯ノ如キ場合ニハ一般ニ強制和議ヲ取消シタ方ガ、其債權者ヲ救フノミナラズ、一般ノ債權者ノ利益カラ言フテモ其方ガ宜イデヤナイカト思フノデス

○政府委員(池田寅二郎君) 強制和議ニ付テノ讓歩ヲ取消シタ債權者ガ、其讓歩ニ依テ回復シタル部分ニ付テハ、強制和議ノ實行後ニ於テ其權利ヲ實行スルト云フコトニ致シマシタノハ、ソレヲ直接讓歩ニ依テ回復シタ權利ヲ同時ニ實行スルト云フコトニナリマス、和議ノ標準ト云フモノガ破レルトコトニナリマシテ、折角極マデ其關係ト云フモノヲ更ニ紛亂スルト云フヤウナコトニナルノデアリマス、カラソコデ後トニ廻ルト云フコトニナツタノデアリマス、デ和議ノ先ヅ實行サレマス場合ニハ、債務者ノ方ニモ相當力ガアリ信用方アル、債權者ノ方カラ言フテモ成ルベク之ヲ破産ニシナイデ、一部讓歩ヲシテモ之ヲ活カシテ取ル方ガ

宜シイト斯ウ云フ譯ニナリマス、カラ、破産ヲ終結シテ其餘リト云フヤウナ場合トハ異リマシテ、矢張先ヅ相當救済ヲ得ル見込ト云フモノハアルコトデアラウト考ヘテ居リマス

○男爵矢吹省三君 假ニ過半數ノ債權者、其債權額ニ於テモ亦頭數ニ於テモ過半數ノ債權者ガ、債務者ノ不正ナル方法ニ依テ強制和議ガ成立シタコトヲ其後ニ發見シテ、寧ロ強制和議ヲ以テ讓歩ヲ取消シタ方ガ自分達ノ利益ナリト思フ場合ニ於テ、過半數ノ者ガ讓歩ヲ取消スト云フ場合ガアツタト致シマシテ、其場合ハ強制和議ヲ取消シタ結果ニ於テ等シイノデ、又利害ノ關係カラ言フテモ過半數ノ者ノ利害ヲ見ルノデアリマス、カラ、斯ノ如キ場合ニハ不正ノ方法ニ依テ終結ニ至ツタト云フコトガ分カテ居リマス、三三十二條ノ規定ニ依テ強制和議ノ決定ヲシテモ宜イノデヤナイカト思フノデス、今一應伺ヒマス

○政府委員(池田寅二郎君) 唯今ノ御質問ノ趣旨ハ、多數ノ債權者ガ強制和議ガ不正ノ手段ニ依ルト云フコトヲ理由トシテ、和議其モノヲ取消スト云フ意圖デアラナラバ、三三十二條ト同様ニ取消ノ途ヲ開イタ方ガ宜クナイカト、斯ウ云フ御趣意ト承タノデアリマス、成程サウ云フ所マデ進ンデ参リマス、レバ、此和議ノ實行ト云フコトモ頗ル困難ニナルコトデアラウト思フノデアリマス、大體多數ノ者ガ其不正ニ依テ害ヲ受ケテ居ルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、多ク詐欺破産ト云フコトニ歸着スルモノデアラウト思ヒマス、其ノ所マデ行キマス、レバ是ハモウ取消シテ宜イト云フコトニナリマス、其處マデ行カナイ、先ヅ個々ノ部分的ノモノガ取消スト云フヤウナ場合デアリマス、レバ、矢張讓歩位デ宜クハナイカト云フ考デアリマス

○男爵矢吹省三君 此點ニ付テハ私ノ質問ハ終リマシタ

○政府委員(池田寅二郎君) ソレカラ此提供ト云フ文字ニ付マシテ御尋、ソレデアリマシタカ

○男爵矢吹省三君 左様デアリマス

○政府委員(池田寅二郎君) 提供ト云フ文字ハ、民法ニ於テ既ニ辨濟ノ提供ト云フコトニ使用セラレテ居ル術語デアリマシテ、是ヲ斯ノ如キ私議ノ提供ト云フモノニ使フノハ妥當ヲ缺クノデアアルマイカト云フ御趣旨ノ御質問デアリマシタ、或ハ提議ト云フヤウニシタ方ガ宜クハナイカト云フ風ナ思召モ御話ガゴザイマシタ、外ニ文例等ハ無イカト云フ事デアリマシタ、文例等モ相當提シテ見マシタガ餘リ好イ適例モ無イノデアリマス、現行法ガ矢張提供ト云フコトデ使ツテ居リマス、ソレカラ一體此強制和議ヲ提議スルナリ、提供スルナリト云フコトハ和議ノ條件ヲ債權者側ニ持出シテ、其承認ヲ得ルト云フコトヲ目的トシテ居ルモノデアリマス、謂ハバ一種ノ契約ノ巾込ニ類スルモノデアリマ

ス、併ナカラ此和議其モノノ性質ニ付マシテモ大分議論ガアリマシテ、兎ニ角一方デ以テ當事者ニナルベキ契約トスルナラバ、當事者ニナルベキ多數ノ破産債權者ト云フモノハ全員ノ一致デ強制和議ヲスルモノデナイ多數決デ以テ少數ノ意思ニ反シテ纏メルト云フコトニナルカラ、如何ニモ契約ト云フコトニ當ラナイ、サウスルト契約ノ申込、申出ト云フヤウナ風ニ全然見ル譯ニイカスカ、色々ノ條件ヲ相手ニ持出スト云フヤウナ意味デ結局提供ト云フ文字ヲ使ハレタコトデアラウト思ヒマス、提議ト申シマシテハ少シ大キ過ギルト云フヤウナ感ジモ致シマス、旁々此案ノ文字ニ落付イテ居ル譯デアリマス

○男爵矢吹省三君 私ノ虞レマスノハ、提供ト云フ字句ニ對シテ從來ノ法文ノ用例カラ言フテ、或ル一ツノ意味ヲ持タシテ使ハレテ居リヤナイカト云フ點ナンデス、即チ民法ノ債權編ニ於テ辨濟ノ提供トカ、其他双務契約ナルモノニ付テモ提供ト云フコトガアツタト思ヒマス、斯ノ如ク提供ト云フコトニ特別ノ意味ヲ持タシテ居ルト考ヘマス、ソレデ此提供ト云フコトガ履々色々ノ場合ニ法文上、各法文ニ付テ使ハレテ居ルトスレバ極ク通俗ノ事ニナツタシマイマス、サウデナク民法ノ一部ニ現ハレテ居ル位ノモノデアリマス、法語トシテ特別ノ意味ヲ持タシテ置クト云フコトガ認メラレマス、然ラバ強制和議ノ提供ト云フヤウナ言葉ハ普通常識ニ依テハ使ハレルトシテモ、法律語トシテ避ケタ方ガ宜イノデヤナイカト云フノガ私ノ主張スル點ナンデス、ソレデ寧ロ民法等ノ提供ト云フコトト丸ツ切り意味ヲ違ヘテ居ルノデアルト云フコトノ明カニナルヤウニ、全ク他ノ言葉ヲ用ヒテ提議トカ云フコトガドウカト思フガ、提議ガ大體提議デアルトスレバ、或ハ申出ノ如キモノデモ宜イノデヤナイカト思フノデスガ重ネテ伺ヒマス

○政府委員(池田寅二郎君) 或ハ同様ノ事ニナルカモ知レマセヌガ、強制和議其モノノ本體ニ關スル學術上ノ議論モアルコトデアリマシテ、之ヲ契約的ノ文字ヲ使フト云フコトハ餘リ面白クアルマイ、旁提供ト云フコトニナツタ譯デアリマシテ、現行法既ニ然リト云フトコロカラ、一層ソレヲ踏襲サレタト云フコトニナツタノデアリマス、文字ノ意味ノ方カラ申セバ、是ガ民法ニ於ケル辨濟ノ提供ト共意味ヲ異ニスルト云フコトハ是ハ明カナコトデアリマス、之ハ誤解ヲ招クト云フコトハ全然ナカラウト思ヒマス、ソレカラ餘リ適例デアリマセヌケレドモ刑事的ノ法規ニ於キマシテハ例ヘバ賄賂ノ提供トカ云フヤウナモノハ、矢張同ジ提供ト云フ文字ヲ使ツテ居リマス、必ズシモ法典各種ヲ涉ツテ見マシマス、劃一ノ意味ニ是ガ使ハレルト云フ譯ダハナイノデゴザイマス、カラ、誤解ヲ生ズルト云フコトモ毛頭ナイコ

トト思ヒマス、

○政府委員(三宅正太郎君) 一寸池田政府委員ノ御話ニ續
イテ中上ダマスガ、提供ト云フノハ今矢吹男爵ノ言ハレル
ヤウニ、申出ト云フコトニナルト、何カ裁判所ノ方ヘ申出
テルトカ或ハ裁判所ノ方カラ何カ申立ヲスルトカ云フコト
ノ方ニミ重キガ置カレハシナイカト思フ、此提供ト致シマ
スルト、之ハ今池田委員カラ申サレタヤウニ、多數債權者
對スル申出ト云フ風ナ意味ニモ取ラレマスガ、旁々マア假
令強制和議ノ契約説ヲ取リマシテモ、判決説ヲ取ルニ致シ
マシテモ、兎ニ角成立イタシマスノハ、債務者ノ申出タ條件
ト云フモノガ基礎ニナル譯デアリマスカラ、ソレ等ノ意味
カラ、ワザト申出ト云フ風ナ或ハ提議トカ云フ言葉ヲ避ケ
テ、提供ト云フ風ナ言葉ガ實體法上ノ意味ノ幾ラカツツア
ルガ如キ文字ヲ立法者ガ使ハレタヤウナ次第デナイカト存
ジマス、附加ヘテ一寸申上ゲマス

○藤田四郎君 現行法ニ矢張提供ト云フ字ヲ使ッテアルト
云フコトデスガ何條デスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 現行法デハ強制和議ノコトヲ
協議契約ト云フテ居リマス、條文ハ商法ノ千三十八條

○委員長(伯耆松平賴壽君) 先ヘ參リマス、復權、三編全部
ヲ願ヒマス

○政府委員(池田寅二郎君) 復權ニ關スル手續ハ破産手續
其モノデハアリマセス、破産宣告ニ依リマシテ他ノ法律關
係ニ於テ色々資格ヲ喪失スルト云フ結果ヲ生ジテ居ルノデ
アリマスカラ、ソレヲ回復スルト云フ爲ノ手續ヲ茲ニ定メ
タルモノガ所謂復權デアリマス、破産後其モノカラ生ジマ
スル直接ノ結果トシマシテ千五百四十四條デアリマシタカ、現
行法ニ矢張資格喪失ノ結果ヲ茲ニ極メテ居リマスノデ、ソ
レハ今度改正案ニナリマスレバ廢止サレルノデアリマス、
破産當然ノ結果トシマシテ、破産法ヲ認メテ居ル失權、權利
ヲ失フト云フ結果ハナイコトニナリマスガ、併ナガラ他ノ
選舉法デアリマス、其外各種ノ法律ニ於キマシテ、破産
ヲ受ケタ者ノ資格ヲ失フト云フコトガ書イテアリマス、其
回復スル爲ノ手續ヲ茲ニ極メテデアリマス、破産ノ結果
ヲ茲ニ除去スルト云フ意味ニ於キマシテ茲ニ第三編ヲ設ケ
ラレタ譯デアリマス、先ヅ破産者ガ債務ヲ全部辨済スルト
カ、破産債權ヲ全部滅殺スルトカ其外ノ方法ヲ以テ其責任
ノ免除ヲ得マシタ時ニ初メテ復權ノ申立ヲスルコトガ出來
ルト云フコトヲ極メテノガ三百六十七條デアリマシテ、ソ
レニハ其證據書類ト云フモノヲ出サネバナラス、ソレカラ
復權ノ決定ト云フモノハ確定シテ初メテ復權ト云フコトニ
ナルノデアアル、ソレガ三百六十八條、ソレカラ三百六十九條
ハ、其申立マシタ時ニ後ノ調ベヲ受ケル必要カラ關係人ハ

異議ヲ申立テルコトガ出來マス、ソレニ見セル爲ニ書類ヲ
裁判所ニ備ヘル、又其申立アリタルコトヲ一般ニ公告ラ
ス、云フ規定デアリマス、ソレガ、三百六十九條、ソレデ其公
告ガアリマスレバ三月内ニ破産債權者ハ異議ヲ申立テルコ
トガ出來ル、又復權セシムルモノデナイト云フコトニ異議
ノ申立アリタルコトガ出來ル、ソレガ三百七十條、ソレデ異議
ノ申立ガアリマスレバ裁判所ハ破産者或ハ異議ヲ申立テタ
ル者ノ意見ヲ聽イテ然ル上ニ裁判ヲ下スト云フコトニナル
ノデアリマス、ソレガ三百七十一條、其調ベノ結果復權ヲ致
シマシテ復權ガ確定イタシマスレバ、其主文ヲ公告スル、是
ハ破産宣告ノ公告ト對照シマシテ公告スルコトニナルノデ
アリマス、ソレガ三百七十二條、三百七十三條ハ全ク復權ノ
裁判ヲ致シマスルニ付テノ手續上ノ原則ヲココニ決メタモ
ノデアリマス、從前……是ハ破産手續デハナイノデアリマ
スルカラ、此破産法ノ總則ガ當然ココニ來ナイト……、總則
ニ於テ決メマシタ所ノ總則ヲココニ準用シタ次第デアリマ
ス

○藤田四郎君 一寸伺ヒマスガ、此三百六十九條デ以テ「公
告シテ閱覽ニ供スル」トアリマスガ若シ利害關係ガアルト
云フナラ矢張債權者ニ通知スルト云フヤウナコトニシタ方
ガ宜クハナイノデゴザイマセウカ、分カッテ居ルノデゴザイ
マセウカ

○政府委員(池田寅二郎君) 若シ復權ノ手續ヲ始メマスル
場合、破産決定カラ大分程經テ居ルト云フ場合ガ多カラウ
ト思ヒマス、一、通知スルト云フコトハ餘ホド困難ナル事
情ガアリハスマイカト思ヒマス、ソコデ公告ト云フコトニ
ナッタ次第デアリマス

○男爵矢吹省三君 三百六十七條ニ「其ノ他ノ方法」ト云フ
ノハ是ハ破産債權者トノ話合等デ債務ヲ免責シテヤルト云
フヤウナコトノ場合デゴザイマセウカ

○政府委員(池田寅二郎君) 只今仰セノ場合モ確ニ其一方
デアリマス

○男爵矢吹省三君 ソレカラ復權ニ付テ唯一人破産債權者
ニ於テ異議ヲ云フ人ガアッタスル、ソレデ矢張復權出來ナ
イト云フヤウナ場合ガアリハシナイカト思フ、ソレハ隨分
慘酷ナヤウニ思フノデスガ、サウ云フコトハ避ケタ方ガ宜
イノデハナイカ

○政府委員(池田寅二郎君) 唯今ノ御質問ノ趣旨ヲ少シ誤
解シタカモ知レマセト思ヒマスガ、復權ノ決定ヲ致シマ
スニ付テ破産債權者ニ異議ガアリマシテモ裁判所ハ見ル所
ニ依リマシテソレ等ノ意見ヲ聽イタ上デ裁量ヲシテ復權ヲ
許スベキモノナラバ復權ヲスルト斯ウ云フコトニナラウト
思ヒマス、或ハ其御質問デアリマシタデセウカ……或ハ申

立ヲスルニ付テ破産者ガ全部ヲ辨済スルト云フコトハムツ
カシイ、併ナガラ僅ニナッテ居ル、其僅ノ破産債權者ガ免除
デモシテ與レバ便宜イノ免除シナイト云フコトニナラバ
申立ガ出來ナイ、是ハ酷デハナイカト云フ御趣旨デアリマ
シタカ……、マアサウ云フコトニナリマスレバ更ニソレ
ニ付テ御答ヲ致シマス、矢張此債權者ニ迷惑ヲ掛ケテ置キ
ナガラソレヲ復權ヲスルト云フコトハ妥當デヤナイデアラ
ウ、斯ウ云フ考カラ兎ニ角判定ノ結果ヲ除去スルニハ全部
ノ免責ヲ得ナレバイカヌト云フヤウナ趣旨ニ成立ッテ居
ルト思ヒマス

○男爵矢吹省三君 此破産宣告ニ依ッテ人ノ……債務者ノ
身上ニ色々ノ效果ヲ及ボス、詰リ失格ヲ爭奪……奪フ場合
ガアルノデスガ、サウ云フコトハ外國ノ立法令デモ同様ナ
コトデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 一、唯今の確ノ事例ヲココニ
申上タルコトハ出來マセスガ、大體破産者ト云フモノハ矢
張色々ナ點ニ於テ資格上ノ制限ヲ受ケテ居ル例ニナッテ居
ルト心得テ居リマス

○委員長(松平賴壽君) 別段御質問ハゴザイマセスデセウ
カ……先ヘ參リマセウ、第四編罰則、之ヲ全部

○政府委員(宮城長五郎君) 罰則ニ付マシテハ取立テ申上
グル點モアリマセスガ特ニ罰則ヲ附ケテ、サウシテ取締ラン
ト欲シマシタル點ハ、成ベク破産ト云フヤウナコトニサセ
タクナイ、併ナガラ一旦破産ニナリマシタ際ニハ、ドウカシ
テ、破産財團ト云フモノカラ辨済ヲスルコトニシタイ、旁々
破産手續ガ圓滑ニ遂行セラレルヤウニシタイ、サウ云フヤ
ウナコトヲ頭ニ置キマシテ罰則ヲ書クコトニ致シタノデア
リマス、各條ニ付テ申シマスルコト云フト三百七十四條ノ罰
則デアリマス、是ハ現行法ノ千五百四十條ノ罰則ト同ジナノデ
アリマシテ所謂詐欺破産ト稱セラルルモノニ當ルノデアリ
マス、其規定致シマシタル所ノ趣旨モ現行法トサウ變ハッテ
居ラスノデアリマス、唯特ニ申上ゲテ置ク必要ガアリマス
ルコトハ「自己若ハ他人ノ利益ヲ圖リ」此點デアリマシテ、
此點ハ現行法ニハ違反ッテ居ラスノデアリマス、併ナガラ既
ニ刑法ノ二百四十七條ニ背任罪ト稱セラルル規定ニ於キマ
シテ自己若クハ他人ノ利益ヲ圖ッテ人ニ損害ヲ與ヘルト云
フヤウナコトヲ罰シテ居リマスルカラ、破産ニ於キマシテ
モ債權者ヲ害スル目的以外ニ自己若クハ他人ノ利益ヲ圖ル
ト云フコトヲ附加ヘルノガ妥當デアリマシテ云フ考ヲ持チマシ
テ特ニ附加ヘタルデアリマス、次ノ三百七十五條ハ現行法
ノ千五百一十一條ト同ジデアリマス、現行法デハ特ニ過怠破産
ト云フ名稱ヲ附ケテ居リマスガ、特ニ過怠破産ト云フ名稱
ヲ附ケル必要モアリマセス所カラ、前條ニ於キマシテハ、詐

欺破産ノ罪ト同ジニ規定シタルニ拘ハリマセズ、本條ニ於キマシテハ其言葉ヲ附ケナイノデアリマス、次ニ三百七十六條デアリマシテ、是ハ現行法ノ千五百一十二條ノ前段ト其趣旨ヲ同ジクシテ居ルノデアリマス、破産法上、破産者ト同様ノ取扱ヲ受ケ、類似ノ地位ニアルベキモノ、斯ウ云フモノノガ三百七十四條、三百七十五條ニ該當スルヤウナ行爲ヲ致シマシタラバ、此者ヲ處罰スルノハ穩當デアルト云フ所カラ、現行法通り、現行法ノ趣旨ニ依リマシテ三百七十六條ヲ書イタノデアリマス、次ニ三百七十七條デアリマシテ、是ハ破産手續ノ遂行ノ上デ破産裁判所ハ監督ヲ命ズルトカ、或ハ其許可ヲ受ケナケレバ人ト面會ヲシテハナラヌトカ云フヤウナコトヲスル必要ガアリマシテ、其規定ガアルノデアリマス、現行法ニハアリマセズガ、總テサウ云フ規定ヲ破産手續ノ方デシタル以上、コトニ置イテソレニ違反シタ場合ヲ取締マル必要ガアルデアラウト云フ所カラ特ニ規定シタノデアリマス、次ニ三百七十八條デアリマス、是ハ現行法ノ千五百一十二條ノ後段ト其趣旨ヲ同ジクシテ居ルノデアリマシテ、全部同ジデアリマセズガ、一部分同ジニナツテ居ルノデアリマシテ、此規定ハ三百七十四條、此共犯者ニアラズシテ第三百七十四條ニ掲ゲテアリマサルヤウナ不正ナル行爲ヲナシタ者ヲ取締マル必要ガアルト云フ所カラ此規定ヲ設ケタ次第デアリマス、次ニ三百七十九條ハ既ニ三百三十六條ニ依リマシテ、強制ノ取消ト云フモノハ實體ノ規定ノ適用ニ付マシテハ破産ノ宣告ト看做スト云フ規定ガ置カレテアリマス、關係上、強制ノ取消ト云フ事ハ、罰則ノ規定ノ適用ニ付マシテモ、矢張破産ノ宣告ト看做スノガ穩當デアルト云フ所カラ特ニ三百七十九條ノ規定ヲ置キマシタノデアリマス、三百八十條、次ニ三百八十一條、是ハ破産ニ關係イタシマスル裁判所以外ノ機關ト云フモノガ、破産手續遂行ノ上ニ於キマシテ、賄賂ノ授受ヲ致スト云フヤウナコトガアリマシテハ明白クナイト云フヤウナ所カラ、此ニ二條ノ規定ヲ置イタノデアリマス、現行法ニ於キマシテハ、債權者集會ノミノ規定ガ千五百三十三條ニアルノデアリマスガ、監査委員ト云フモノハ債權者集會ノ決議ト同一ノ力ノアルヤウナ意見ヲ述フルコトモ出來ルノデアリマサルカラ、監査委員ヲ加ヘルノガ穩當デアルト云フ所カラ加ヘタノデアリマスガ、破産管財人ニ付マシテハ刑法ノ解釋ノ上デ公務員トナセナイト云フコトニ極マリマシタノデアリマス、破産管財人ト云フモノヲ加ヘテ、サウシテ破産管財人ガ賄賂ニ關係イタシマシタナラバ、之ヲ處罰スルト云フノ規定ヲ置イタノデアリマス、次ニ三百八十二條、是ハ破産手續遂行ノ必要上説明ノ義務ヲ附ケテ居リマス、其説明ノ義務カラ遂行セズ或ハ

遂行シテ虚偽ノコトヲ申立テタ、是モ餘程取締マル必要ガアル所カラ三百八十二條ノ規定ヲ置イタノデアリマス、大體罰則ニ付テ申上グベキ點ハ只今申上ゲタ所デ盡ルト思ッテ居リマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 御質問ヲ願ヒマス、

○藤田四郎君 此罰金トカ刑ノ輕重ノコトニ付テハ、現行ノ破産法ニ近イ方デゴザイマセウカ、又ハ刑法ノ方ノ現在ノ法ニ依ッテ居リマス、重モニドテラニナツテ居リマス、

○政府委員(宮城長五郎君) 現行ノ刑法ヲ土臺ト致シマシテ、各刑ノ量定ヲ定メタ次第デアリマス、例ヘテ申シマスルト云フト、現行法ニ於キマシテ、詐欺ノ罪ハ十年以下ノ懲役デアリマス、ソレニ依リマシテ三百七十四條ハ十年以下ノ懲役、斯様ニ致シタノデアリマス

○藤田四郎君 之ハ現行ノ破産法ニ較ベマストドウナリマス、

○政府委員(宮城長五郎君) 重クナツテ居リマス

○男爵矢吹省三君 破産管財人ハ公務員デナイト仰シヤイマシタガ、此百六十條ノ破産管財人ノ規定ノ説明書ヲ讀キマシタ中ニ、破産管財人ノ職務ハ公務員トシテアリマスカ、破産管財人ハ公務員ト云フモノデアリマセスカ、百六十條ノ説明書……

○政府委員(宮城長五郎君) 管財人ノ性質ニ付マシテハ、法律取調會デ各種ノ學者ガ集リマシテ、ドウ云フモノデアラウ、公務員デアラウカ、公務員デナカラウカト云フヤウナコトヲ研究ヲ致シマシテ、其上デ司法省ノ刑事局ニ於キマシテ更ニ研究ヲ致シテ見タノデアリマス、ドウモ各種ノ關係上、刑法ノ七條ノ公務員ト見ルノハ穩當デアルマイト云フコトニ極マリマシタ所カラ、先程申シマシタヤウニ公務員デナイト斯様ナ解釋ニ相成リマシタト斯ウ申上ゲタノデアリマス、

○男爵矢吹省三君 サウスルト云フト、百六十條ノ説明ニ破産管財人ノ職務タリト言タノハ、敢ヘテ破産管財人ハ公務員デアルト云フ意味デ書イタノデハナイノデアリマスカ

○政府委員(山内確三郎君) 説明書ハ主トシテ私ガ筆ヲ執リマシタノデアリマスカ、此關係ニ付テ申シマスガ、説明書ニ申シマス公務員ト云フノハ、私ハ餘程廣イ意味ニ取ッテ、謂ハバ公ニ關係アル事柄ヲ、スグ恰モ辯護士ガ辯護スルト同ジヤウナモノデアルト云フ意味デ書キマシタモノデ、刑法ノ所謂公務員デアルト云フ意味デ書イタノデハナイノデアリマス、單純ノ私ハ關係ヲ律スルノデナクシテ、一般公衆ノ權利擁護ニ關係モアル、社會經濟上ニ重大ノ關係モアルト云フ意味ヲ簡單ニ公務員ト云フ文字デ現ハシタノデアリ

マス

○男爵矢吹省三君 ソレカラ一部ノ債權者ガ自分ノ利益ヲ圖ル爲ニ債務者ヲシテ此罰則ニ設ケタヤウナ都合ナ行爲ヲ爲サシムルコトガアルドラウト思ヒマスガソレ等ニ對シテノ制裁ハ此規定カラ直接出テ來ナイヤウデアリマスガ、矢張刑法ノ教唆罪ト云フヤウナコトニ依ッテ制裁ヲ受ケルノデアリマスカ

○政府委員(宮城長五郎君) 御説ノ通り刑法ノ共犯ニ關スル所ノ規定ノ適用ガアリマシテ、教唆關係ニ相成リマシタ時ニハ教唆者トシテノ處分ヲ受ケ、實行正犯者トシテノ關係ガアル時ニハ正犯者トシテノ處分ヲ受ケ、從犯ノ關係アル時ニハ從犯トシテノ處分ヲ受ケルノデアリマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 如何デスカ別段御質問ハゴザイマセスカ、ソレナラバ次ニ參リマシテ、附則全部ノ御説明ヲ願ヒタイノデス

○政府委員(山内確三郎君) 三百八十二條ハ是ハ云フマデデモナク規定デアリマス、三百八十四條、是ハ一般ニ破産ガ商人、非商人ニ付テ適用セラルベキコトニナツテ此案ガ出來マシタ、舊商法、家資分散法、是ハ共ニ廢スルガ當然、ソレカラ其次ノ條文ハ民法施行法ノ二條、三條、是ハ結局商法ノ方ニモ準用サレテ居ルノデアリマス、商法施行法ニモ同様ノ規定ガアルノデアリマスカ、是ガ準用サレテ居ルノデアリマス、即チ破産法ハ現行法ニ於テ商人ニノミ適用セラレルト云フ結果、民法施行法ノ二條、三條ハ民法中破産破産ト云フヤウナコトガ所アルノデアリマス、是ハ無論商人ニノミ適用スルト云フコトデハ意味ヲ爲サスノデアリマスカ、ソコデ家資分散者ナリ、或ハ身代限モ這入ッテ居タノデアリマセウ、サウ云フモノハ民法ノ適用ニ付テ破産者ト看做ス、其結果ガ家資分散者ガ委任關係ヲ結ンデ居レバ、此破産ノ家資分散ノ規定デ以テ委任ノ關係ハ解ケルト云フヤウナ規定ガアッタノデアリマス、而モソレハ將來ニ付テノ關係ヲ律スル規定デモアリマシタノデスガ、是カラ舊商法ガ廢止サレテ、破産者ガ茲ニ出來ル以上、モウサウ云フ規定ハ要ラナクナツテ、民法ノ當初ノ目的ハ茲ニ達シタト云フノデ、ソコデ此規定ハ削ル必要ガアルノデアリマス、非訟事件百五十二條以下ハ是ハ破産ニ關スル登記ノ規定デアリマス、本案ニハ破産ニ關スル登記ノ規定ハ詳細ニ致シマシタカラシテ、是亦廢止スルノ必要ガアル刑法施行法ハ二十五條第一項第三號ニ依ッテ家資分散法、家資分散ニ關スル舊刑法ノ規定ハ猶其效力ヲ有スルト云フ趣旨デアリマスカ、是亦削ル必要ガアリマス、ソレカラ三百八十六條ハ此古イ法例ノ中ニ「身代限ノ處分ヲ受ケ債務ヲ完済セラル者」云々ト云フヤウナ規定ガアル、ソレハ最モ古イモノハ例ヘバ裁

判所構成法ガサウデアット思フ、貴族院令ニモ確カアツタト記憶シテ思ヒマス、ソレハ茲ニ現ニ破産ノ宣告ヲ受ケタ者ガアリ、或ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケタ者ガアルトスレバ、其身代限ノ處分ヲ受ケ債務ヲ完済セザル者ト云フノ人ノ資格ニ關スル規定ハ是ハ擴張テ破産者ノ家資分散者處分ニモ適用シナケレバナラヌト云フコトニナル、更ニ又破産ノコトハ全ク書カズニ身代限ノ處分ヲ受ケ債務ヲ完済セザル者、或ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケタル者、此ニツダケニ付テ人ノ資格ニ關スル規定ヲ爲シタル法律ノ規定ニアル、是モ勿論破産者ニ適用サレナケレバナラヌト云フコト、第二項デスノ如キ規定ヲ設ケタノデアリマス、ソレカラ三百八十七條ハ是ハ從前ノ件、即チ破産法施行前ニ舊商法ニ依ッテ破産ノ中立ヲスル、或ハ復權ノ申立ガアル、或ハ破産若クハ家資分散ノ宣告ガアツタ、或ハ支拂猶豫ノ許可若クハ假許可ガアツタ、サウ云フモノ、其手續モ其效果モ矢張舊法ニ依ッテ之ヲ處理スル、然ルニ舊商法ノ規定ハ全部適用スル積デアリマスガ、其舊商法中ニ廣イ身上ノ資格、身上ノ效果ヲ書イタモノガアル、破産ノ宣告ヲ受ケタ者ハ例ヘバ會社ノ取締役トナルコトガ出來ナイト云フヤウナコトガ所謂現行破産法ノ中ニ廣イ規定ガアル、ソレハ此破産法案ハサウ云フ廣イ身上ノ規定ハ是ハ削除スル方ヲ可トスルト云フコトニモ何モ書イテナイ、隨ッテ舊商法ノ下ニ破産ノ申請ヲ受ケ、或ハ破産ノ宣告ガアツタ者ニ付テ此舊商法ノ廣イ身上ニ關スル規定ハ之ヲ例外トシテ適用シナイト云フノガ第二項ノ趣意デアリマス、ソレカラ家資分散ナリ、或ハ支拂猶豫ノ申立ニハ、是ハ將來許サレナイノデアリマス、是ハ前ニ受理シタモノガアレバ、之ヲ棄却スル、隨ッテ家資分散ノ申請ヲシタ者ガ必要ガアレバ破産ノ申立ヲ爲サレシ趣旨デアリマス、強制執行デ何モカモ賣飛バサレタ後ノ始末、更ニ破産ノ申請ヲ爲ス必要ガアル支拂猶豫ノコトモ更ニ更メテ和議ノ方法デ以テ之ヲ申立スル方便宜デアルト云フコトデ是ハ一應却下スルコトニナツテ居リマス、ソレカラ三百八十八條ハ將來ニ向ッテ家資分散ノ宣告ト云フモノハシナイノデアリマス、既ニ舊法ノ下ニ家資分散ノ宣告ヲ受ケタ者、或ハ身代限ノ處分ヲ受ケタ者ガアル、或ハ破産ノ宣告ヲ受ケタ者ガアル、サウ云フ者ノ復權ノコトハ舊法ノ規定ニ於テ手續スルヨリハ新法ニ依ッテ此復權ノ手續スルノガ適當デアルト云フコト、本條ヲ設ケタノデアリマス、ソレカラ商法ナリ、民法ノ中ニ法人ガ破産狀態ニ陥リタ、即チ債務ガ財産ヲ超過シタト云フヤウナ場合ニハ其理事者、或ハ取締役ナリ理事ナリハ破産ノ申請ヲ爲ス所ノ義務ヲ法律ガ認メテ居ル、必ズ破産ノ申請ヲシナケレバナラヌ、然ルニ法人ニ付テモ所謂和議法ニ依ル和議ノ途ヲ開イタ、和議ハ破産ヲ防

止スル爲ニ之ヲ許スノデアリマス、其場合ニ必ズ破産ノ申請ヲシナケレバナラヌト云フコトニナルト、法人ニ付テ和議ト云フコトハ出來ナイヤウニナリマスカラ、特ニ本條ヲ以テ破産ノ申請ヲセズシテ、和議ノ申立ヲスルコトガ出來ルト云フコトヲ明カニシタ次第デアリマス、ソレカラ三百九十條ハ是ハ全ク他ノ事柄デアリマスガ、商法ノ規定ヲ改メタノデアリマス、現行商法ノ規定ニ依リマスルト、保險者ガ破産ノ宣告ヲ受ケタ場合ニハ保險契約者ハ相當ノ擔保ヲ取ル、或ハ然ラザレバ契約ノ解除ヲナスコトガ出來ルト云フコトニナツテ居ル、而シテ契約ノ解除ヲ致シタ時ニハソレハ將來ニ向ッテノ其效力ヲ生ズト云フコトハ言フヲ俟タスノデアリマス、サウ云フ趣旨ノ規定ガアリマスケレドモ、ソレデハ保險契約ト云フモノガ矢張何時マデモ解除ヲシナケレバ續クト云フヤウナコトニナルノデ、破産者ニ擔保ヲ供セシムルト云フコトハ是ハ出來ナイ相談、勿論破産財團ヲ以テ保險者ガ擔保ヲ供スルコトハ出來ナイノデアリマス、處分能力ノナイ者ガ……サウスルト破産財團以外ノモノデ擔保ヲ供スルト云フ事ニナルノデ、甚ダ此破産ノ狀態ニ於テ無用ノ規定デアル、ソレヨリモ保險契約ト云フモノハスカリ之ヲ始末ヲシテ仕舞フ、ソレデ木案デハ破産ノ宣告ヲ受ケタ場合ニハ保險契約者ハ契約ノ解除ヲナスコトヲ得ト云フコトヲ置キマシテ、且其解除ハ將來ニ向ッテノミ其效力ヲ生ズト云フコトニシタノハ現行法ノ通りデアリマス、然ニ解除ヲ一方ニ於テシナイト云フ場合ニハ其契約關係ヲ何時マデモ殘シテ置クト云フコトニナル、始末ニオヘナイト云フ關係ニナリマスカラ、一定ノ期間ヲ限リテ其效力ヲ失フコトニ致シマシタ、サウスルト其間ニ於テ保險業法ニ於テ適當ナル處分ヲスル、即チ保險契約ノ承繼ト云フヤウナ手續デ其始末ヲ三月ノ間ニ於テスレバ宜シイ、シナケレバ其保險契約ハ茲ニ終了スルト云フコトニナツテ、破産ノ場合ニ於ケル關係ヲ結置ニ茲ニ始末ヲ付ルト云フ和議ノ規定ハ其次ハ商法施行法ノ規定ヲ三百三十八條カラ四百四十五條ハ是ハ全ク舊破産法ヲ商法施行ノ際ニ適當ニ改正シテ其始末ヲ付ルト云フ規定デアリマス、茲ニ破産法ガ改メレバ從ッテ其應急ノ處理方法タル商法施行法ノ規定ハ無用ニ歸スル、唯百三十九條是ハ特ニ殘シテ置カンケレバナリマセヌノデ、條文ノ整理ヲ圖リマシテ百三十九條即チ元ノ百四十六條ト云フモノヲスカリ引上ゲテ百三十九條ト云フコトニ致シタノデアリマス、此澤山ノ條文ノ中デ除カレルト云フト商法施行法ガズット間ノ隙イタ座布團バカリ竝ベテ置イデ御容サシナイヤウナ條文ガ出來マスカラ、茲デ整理ヲシテ百四十六條ト云フモノヲ線上ゲテ、ソレカラ百三十九條ト云フモノヲ加ヘテ之ヲ整理ヲシタト云フコトニナ

ルノデアリマス
○委員長(伯爵松平賴壽君) 御質問ヲ願ヒマス
○加太邦憲君 私ハ少シ廻リマスガ、チヨット私ノ缺席ヲシマシタコトニ付テ一ツ御聽キ致シタイノデアリマスガ……
○委員長(伯爵松平賴壽君) 如何デセウカ、此附則文ケヲ濟マセマシテ後トヘ戻リマシテソレヲ入レルコトニ……附則ニ關聯イタシテ居リマスガ
○加太邦憲君 チヨット關聯モアリマスガ、御質問モナイカト思ヒマシタカラ……御質問ガゴザイマスレバソレヲ濟ンデカラ致シマセウ
○委員長(伯爵松平賴壽君) 御質問ヲ先ヘ願ヒマス
○加太邦憲君 破産裁判管轄ト云フモノヲ今度區裁判所ニ移サレルコトニ新案デナリマシタ、是ハ今日構成法ニ於キマシテ判事ノ資格ト云フモノハ地方裁判所モ、區裁判所モ同様ニナリマシタ以上ハ此事柄ガ區裁判所ニ移サレタト云フコトハ結構ノヤウニ存ジマスルガ、ソレニ付イデ御伺ヒマシタイト思フノデアリマス、破産ノ事柄ヲ是ハマア便宜大小ノ違ヒガアラウト思ヒマスルガ、極ク大キナ破産ト云フヤウナモノガ起ッテ參リマシタ時、事柄ガ大キイニ從ッテ債權者モ多シ種々取扱ノ困難モアラウカト思ハレマスガ、概シテ地方裁判所、區裁判所ノ判事ノ資格ハ同等デアリマシテモ實際ニ於テハ區裁判所ノ判事ト云フモノハ、自然地方裁判所ノ判事ヨリ未熟ノ者ガ多イト云フ、斯ウ云フ順序ニナラウト思フノデアリマスガ、隨分今度ノ破産法ハ此總則ニ於キマシテハナカク、六ヶシイ法文デ、一讀シマシテモチヨット頭ニハ這入り難イ、餘程熟讀研究セシケレバナラヌト云フ考デアリマスルガ、今日ノ區裁判所ノ判事トシマシテ此法ニ依リマスルト、破産ノ取扱ヲシマスルノニ別段今日ニ於テ何ニモ差支ガナイト云フ御見込デアリマセウカ、又此管轄ニ付マシテ長イ間ノ御調べ中ニ多少ソコ等ニ付テ何ゾ御議論ガアリマシタデアリマセウカ、チヨットサウ云フコトガアリマシタナラバソレヲ御伺ヒシタイノデアリマス
○政府委員(山内確三郎君) 先ヅ此管轄ニ付テハ破産法中ノ破産法討論中最モ重大ナ問題トシテ討論サレタノデアリマス、矢張依然トシテ地方裁判所ノ管轄ニ屬セシメヤウトスル御議論ノ御方ガ二人バカリアリマシタ、其外ハ皆矢張區裁判所デナケレバナラヌト云フノデ斯ウ云フコトニナツタ、其區裁判所ノ管轄ニスル方ガ地方裁判所ノ管轄ニスルヨリハ宜シイト云フ趣旨ハ大體此目前ニ私ヨリ申上ゲテ置イタノデアリマス、地方裁判所ハ御承知ノ通り合議裁判所、區裁判所ハ單獨ノ裁判官ニナツテ居ル、併シ殊ニ民事ノ關係ニ付マ

シテ特別ノ知識ヲ要スル、其專門事務ト云フモノハ奇妙ニ
區裁判所ノ方ニ好イ人ガ揃フ、例ヘバ非訟事件ノコトニ致
シマシテモ、月籍ノコトニ致シマシテモ、或ハ強制執行ノコ
トニ致シマシテモ、區裁判所ノ判事、是ハ判事ノミナラズ書
記ニ至ルマデ非常ノ熟達ヲ致シテ居ル、之ニ反シテ地方裁
判所ノ裁判官ナドニナルト云フト執行等ノコトハ先ヅ出來
ヌ人ガ多イ、更ニ控訴院大審院ニ行ケバ益々好イ判事ホド
之ヲ知ラス人ガ多イ、ト申シマスルノハ是等ノ事件ト云フ
モノハ全然ソレニ掛カテ研究ヲシテ總テノ法文ノ解釋カ
ラ、運用カラ餘程專門的ニ之ヲ致サナイト目的ヲ達シナイ、
ソレデ破産關係ニ付テ第一着ニ決定ヲスルコトデアリマス
ルガ、此決定ノコトハ會社ノ問題ガ大キケレバ大キイホド
破産狀態ニ關スル事柄ト云フモノガ勿論顯著ニ近イヤウナ
コトニナツテ居ル、小サイ事件ノ方ハ却テ其破産狀態ニ陷
テ居ルヤ否ヤ、極ク狭イ路次ニ居ル吳服屋ナドガ破産ニ陷
テ居ルヤ否ヤト云フコトホド甚ダ分ラナイケレドモ、大會
社等ニ至ッテハ破産狀態ニ陷ッテ居ルト云フヤウナコトニ付
テハ、多クノ債權者ガ關係シテ居ルト云フヤウナコトカラ
シテ却ッテ破産狀態ト云フモノガ之ヲ明カニシ易イノデア
ル、併シ只今加太サシノ言ハレタ通りニ此法律ノ六ヶ條イ
ノハ破産ノ決定後規定ヲ如何ニ運用スルカト云フコトガ一
番六カシイコトニナル、尤大ナル法典ヲ一々讀ミシテサウシ
テ手ニ取ルヤウニ之ヲ能クハキリ解釋ヲシテ運用シテ行
クト云フコトハ是非非常ニ困難ナ問題デアル、然ルニ現行
法ニ依リマスルコト云フト合議裁判所デ以テ破産ノ決定ヲスル
ト、其部員ノ一人ガ主任官トナリ、サウシテ破産事務ヲ處理
スルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレト同時ニ他
ノ民事事件ニ付テモ公判ニモ立會ハナケレバナラス、破産
事件ダケニ專門ニ扱ッテ居ルコトガ出來ヌノミナラズ、破産
ガ澤山アルト云フコトニナルト破産事務ヲ處理スルニ受命
判事ト云フ者ガ主任官トナルト云フコトガ出來ル、然ルニ
此部員ト云フ者裁判長ハ老練ナル裁判官デアリマスルケレ
ドモ、今日ノ狀態デ部員ト云フノハ寧ろ極メテ不慣レノ人
ガ多イ、部員ノ中ノ一人ハ稍々慣レテ居ル、他ノ一人ニ亘リ
マスト云フト極端ニ言ヘバ豫備判事ト云フヤウナ人デ而モ
ソレガ色々ノ事件ニ立會ハナケレバナラスト云フコトカラ
シテ、破産事務ヲ取扱ハシメルト云フコトハ却テ面白クナ
イ、區裁判所ノ判事ハ今日ニ於キマシテハ地方裁判所ノ陪席
トシテ相當ニ馴レタ上、始メテ區裁判所ノ判事トスル、而シ
テ區裁判所ノ判事中ニ隨分長ク區裁判所ニ居ル人モアル、
サウ云フ次第デアリマスカラ、是ハ東京邊リニ於キマシテ
モ一人ト云フ譯ニハ行キマセヌ、數人ノ破産判事ヲ造ッテサ
ウシテ破産事務ノ專攻ノ部ニ致シテ置ケバ、其判事ハ極メテ

破産ノコトニ精通シテ、總テノ事件ニ付テ統一シタル解釋、
統一シタル取扱、サウシテ迅速ナル處理ヲスルコトハ極メ
テ望ミ得ベキコトデアアル、現ニ一番新シイ獨逸ノ破産法ハ、
結局區裁判所事務ニスルコトニ破産事件ハナツテ居ルト云
フノニ倣ヒマシテ、又一面ニ於テハ理論カラ云ヘバ行政執
行ノ一ノ事務デアリマス、丁度非訟事件ト訴訟事件トノ中
間ニアルヤウナモノデアリマス、一人ノ專門判事ヲ以テ扱
ハシメナケレバ却ッテ此大ナル法典ノ解釋運用ハ能クハ
行カナイダラウト云フコト、是ハ區裁判所ノ事件ニスルコ
トニ結局大多數決マツタ次第デアリマス
○加太邦憲君 只今ノ御答ノ中ニ地方裁判所ノ管轄ニシテ
置クガ宜イト云フ論者モアツタト云フヤウニ聞キマシタガ、
其論者ノ考ハ如何デアリマシタラウ、單純ニ是迄ノヤウニ
地方裁判所ニ管轄サセロト云フノデアリマス、又何カ區
別デモ付ケテ或ハ債權者ノ申請デモアレバ、其時ニ地方ニ
移スカ何トカ云フヤウナ方法論デモアリマシタラウカ、
若シサウ云フコトガアリマシタラバ一寸伺ヒタイ
○政府委員(山内確二郎君) 決定丈ケハセメテ地方裁判所
ニ於テシタルバト云フ、斯ウ云フ話デアッタ、成ル程手續
執行ハ是ハ區裁判所ニ持ッテ行クガ宜カラウ、決定ダケハ地
方裁判所ニシタルバト云フ、斯ウ云フ話デアリマシタ、サウ
云フ意見ガ出タコトガアル、然ルニ決定ヲ地方裁判所ニシ
テ、サウシテ區裁判所ノ方デ其ノ執行ヲスルト云フコトニ
ナルト極メテ煩雜ニ終ルノデアル、況ンヤ破産決定ニ付テ
抗告ノ途ガアツテ、結局地方裁判所ニ行ケルカラ、決定スル
所ト執行スル所ト同一ノ裁判所ニシテ置カナケレバナラス
ト云フノガ、結局其點ニ付テハ其一人ヲ除イテハ皆賛成ノ
ヤウニ考ヘテ居タ、サウスト是ハ決定ト執行事件トハ到
底引離セナイ破産ノ決定ト破産ノ執行ヲ引離スコトハ、到
底イケンイト云フ關係ニナリマシタ結果、然ラバ矢張手續
モ併セテ地方裁判所ニヤラスト云フ主張ガ、更ニ進ミマシ
テ、結局サウ云フモノハ少數ニ倒レタヤウナ次第デアリマ
ス、小破産ハドウデアラウ、小破産ダケハサウシタラドウダ
ラウト云フ話モ出タノデアリマス、此事件モ執行ヲ迅速ニ
計カルニ最モ困難ナルハ大破産デアアル、大破産ノ方コソハ
寧ろ專門的ニ區裁判所ニ持ッテ行カナケレバ、却ッテ混雜ヲ
來タサウニナルト云フ事デ濟ンダノデアリマス、ソレカ
ラ又之ヲ何故ニ地方裁判所ノ管轄ニシヤウカト云フコトニ
付テハ、私ノ會議デ承ハリマシタ範圍内ニ於キマシテハ、區
裁判所ハ一人ノ判事ダカラ壓迫ヲ受ケルトイカヌ、民間ノ
壓迫ヲ受ケル、上カラ壓迫ヲ受ケルト云フヤウナ御議論モ
アリマシタ、裁判官ガ破産事件ヲ處理スルニ於テ今日民間
ノ壓迫ヲ受ケテ居ルト云フコトハ私ナドハ認メナイシ、其

破産ノ結果ガ重大ナル經濟上ノ效果ヲ生ズルガ爲ニ、色々
破産事件ニ付テ意見ヲ開陳セララル尊敬スベキ實業家等ガ
アツテ、裁判官ヲ壓迫シテ破産ヲ止メルト云フコトハ無イト
考ヘル、サウ云フ意見モ出マシタガ、結局私ノ不敏デアリマ
スカ、何處ニ地方裁判所ノ管轄ニシナケレバナラスト云フ
理由ガアルカト云フコトヲ、明カニ了解シ得ルコトハ出來
ナカッタヤウナ次第デアリマス
○加太邦憲君 私が一寸懸念スル點モ只今御話ニナツタコ
トト符合スルノデアリマスガ、私ハ其上ノ方カラ壓迫ヲ受
クルト云フヤウナコトハ、少シモ感ジガアリマセヌケレド
モ詰リ云フトマダ事務ニ馴レナイ、腕ガナイ、ソコデ自分自
カラ事務ヲ取扱フニ自信力モ乏シクアリマセウシ、從ッテ下
カラノ壓迫ト云フト語弊モアリマセウケレドモ、何トナシ
ニ壓迫セララルヤウナ氣分ニナリハセヌカ、ソコヲ一寸恐
レタヤウナ次第デアアルノデス、段々御説明デ分カリマシタ、
ソレカラ此施行期日デスナ、是ハドウ云フ御見込デゴザイ
マセウ、此法ガ若シ行ハレタラバスグ施行サレル御見込
デアリマセウカ、又或ハズツ長イ期間デモ置イテ施行サレ
ルノデアリマスガ、ソレハ此法ガ詰リ完全シタ、兩方デ四百
五十條モアル程ノ大キナモノガ出來マシタ、先ヅ之ガ完全
シテ居レバ、居ル程頭ニハ這入り惡イ、隨分馴レナイ判事ガ
之ヲ即座ニ施行サレルト云フコトニナツタラバ、誠ニ當惑
スルダロウト思ヒマス、只今山内君カラ御説明ニナリマシ
タヤウニ行ヒツツ研究ハ無論出來マスカラ、多少ノ便宜ハ
アリマスガ、尙ホ其上ニ幾ラカ餘裕ヲ以テ施行ニナツタラ宜
カラウト云フ考モ持チマスル、別ニ施行期日ニ付テ御考ハ
アリマセウカ
○政府委員(山内確二郎君) 其事ニ付キマシテハ昨年ノ春
司法官ノ會合ノ節、昨年ハ春デアリマセヌ秋デシタ、其時ニ
私ハ申シテ置キマシタ、此實體法ト違ツテ手續法ト云フモ
ノハ、裁判所ニ於テハ、之ヲ實施サレルト云フト直チニ之
ヲ動かサナケレバナラス、此法モ然リ、殊ニ刑事訴訟法ニ於
テハ尤モ然リデアアル、ソレデ此案ニ付テモ豫メ其御研究ヲ
煩ハシタイ、案ハ直ニ公表スルカラト云フノデアリマシタ
ガ、結局公表サレタノハ此春デアリマシタ、サウ云フ次第
デアリマスカラ、相當ノ期間ヲ設ケテ特ニ其研究ヲシテ貰ハ
ナケレバナラスト私ハ考ヘテ居ル、却テ之ヲ直ニ實施スル
ト云フコトハ、現行法ノ不備ニ鑑ミマシタナラ、一日モ早ク
ナケレバナラスガ、其爲ニ事務ガ上ガラナイ、却テ錯雜ス
ルト云フコトニナレバ弊害ハ更ニ大ナルト考ヘテ居ル、相
當ノ研究ノ期間ヲ置イテ是ハ實施シタイト思フ、而シテ此
研究ノコトニ付テハ十分監督官ニ盡力シテ貰ッテ、愈々實
施スル時ハ大體此主任トシテ破産事件ヲ取扱フニ差支ナイ

ト云フヤウナ程度ニ進ムヲ待テ徐ロニ施行シタイト云フコトヲ考ヘテ居ル

○加太邦憲君 只今申シ落シマシタガ、詰リ判事ガ研究スル幾ラカノ時間ヲホシイト思ヒマスノハ、實ハ破産管財人ト云フモノヲ命ゼラレマシテモ、之マデ破産管財人ヲミタト云フヤウナ者ナラ宜シウゴザイマスガ、實ハ極ク不斷斯ウ云フコトハ辯護士ナドシテモ平生關係ガ起ラナケレバ取扱ハナイモノデアリマスカラ、判事ハ詰リ破産管財人ノ師匠役ニナルノデアリマス、慣レナイ破産管財人ハ一カラ十マデ裁判所ニ付テ指揮ヲ仰グトカ、教ヲ仰グト云フ風ニナリマスノデアリマスカラ、サウ云フ懸念カラ幾ラカ時間ガアツタ宜カラウ、斯ウ思フ所カラ唯今御尋シタヤウナ次第デアッタノデアリマス、モウ私ノ御問ハゴザイマセヌ

○政府委員(山内確三郎君) 茲ニ一ツ申上ゲテ置キタイコトガアリマスノハ五十九條、イヤ六十條デゴザイマシタカ六十一條デス、所謂取引所ノ「相場アル」云々ノ規定デアリマス、我々ガ此案ヲ起シマス時ニ此規定ハ例ヘバ農商務大臣ノ許可ヲ得テ取引所ノ細則ガ出來テ、別ノ解決方法ガ定メテ居ルト云フ場合ニハ當然其別ノ定メニ依ル頭デ以テ解釋ヲシツツ此法ヲ置イタノデアリマス、此案ノ審議ニ關係シタ者ノ中ノ有力者ノ辯護士デ此規定ハ此解釋上サウ云フ取引所ノ細則ヲ以テ動かカスコトガ出來ナイモノダト云フ解釋ヲサレタ方ガアル、成程文字カラ見レバ兩様ニ解釋ガサレ、ソコデ取引所ノ方ハ稍々寧ロウロクヘテデス、サウ云フコトニナッテハ甚ダ六十一條ハ之ヲ惡用シテ、サウ害スル者ガナイトモ限ラヌカラ、サウ云フヤウナ若シ司法省ノ見解ガ取ル所ノ細則ハ農商務大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ定メルモノデスカラ解釋方法ガ定メタラバソレニ依レモノダト云フコトヲ明ラカニシテ貴ヒタイト云フヤウナコトヲ云ハレタ人ガアリマス、趣旨ニ於テハ、置クコトハ一向差支ナイト云フコトマデ私ハ申上ゲテ置イタノデアリマス斯ウ云フ事情ノアツタコトヲハハツイ四五日前ノコトデアリマス、此條文ノ御質問ガ濟ンデ後ニサウ云フコトガアリマスカラ、御參考ノ爲ニ事情ヲ一言申上ゲテ置キマス

○藤田四郎君 或人カラ私ハ聞キマシタデスガ、百二十六條ノ方デゴザイマス、之ハ色々利害ガアルコトデゴザイマセウガ或方面ノ人ノ申スノニハ債權者集會ノ決定ヲ俟テ其破産宣告スルコトニスル、所謂一人ノ申立デ直ニ宣告サレテハ困ル、貯蓄銀行ナドニ付マシテ其場合ガ幾ラカアルト云フコトデ、即チ破産債務者ノ狀態ガ俄ニ破産宣告ヲサレタナラバ、非常ニ窮乏ニ陥ッテ非常ニ困難ヲスルコトデアリマス、能ク債權者ノ集會ヲ俟ッテ決定ヲシテ貰フヤウニシタイト云フコトニ修正ヲシテ貰ヒタイト云フコ

トヲ或人ヲ以テ聞キマシタ、之ハ十分兩方ニ利害ガアルコトデゴザイマセウガ、尙ホ此場合ニ於テ今一應御説明ヲ願フテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(山内確三郎君) 其事ハ私モツイ二三日前ニ承ハツタノデアリマス、然ルニ債權者集會ト云フノガ、此案デハ破産宣告後ニ屆出デベキ期間ヲ定メマシテ其屆出期間ハ少ナクトモ二週間ノハ大キナル會社ト云フ事ニナレバ四週間マデ置ク、サウ云フ事デ債權者ヲシテ債權ヲ屆出サセル、茲ニ債權集會ト云フモノガ出來、而モ債權者ノ集會ハ果シテ債權ヲ有スルヤ否ヤ、債權ノナイ者ガ場合ニ依ルト此債權者ヲシテ届出デ、ソコニ集會ガ出來レバイロ、ナ事ヲ決議サレテハ困ルカラ、先ヅ第一着ニ債權調査ト云フコトカラヤラナケレバナラス、眞ノ債權者ハドレダケ居ルカト云フコトヲ決メテ任舞フ、而シテ債權者集會ノ決議ヲシテ權威アラシメナケレバナラス、云フ、若シ私ガ開キマシタヤウナ意見ニ從ツテ債權者集會ノ決議ト云フコトヲ本ニシテ破産ヲ宣告スルト云フコトニナルト、破産申請ガアツタナラバ茲ニ少ナクトモ二週間或ハ長キハ四週間ノ期間ヲ置イデサウシテ債權者ニ皆届出サセル、サウシテ大體ノ調査ヲシテ其上ニ破産ノ宣告ヲスルト云フコトニナリマス、又而モサウシナケレバ債權者ト云フモノハドレダケ居ルカ分ラヌカラ已ムヲ得ヌ、ソコデ破産宣告ヲスルト云フコトニナルト總テ破産ト云フモノハ先ヅ申請後三四箇月ヲ經過シテ初メテ宣告ト云フコトニナル、而モ宣告スルニ付テハ例ヘバ決議ガアツテ調査ヲシナケレバナラスガ、必ズシモ三月月行クト云フコトハ考物デ、破産申請者ガアツタナラバ其事ヲ下ゲテ置イテ債務者ハ財産ノ隱匿ヲスル、或ハ其他ノ奸手段ヲ講ズルニシテモ之ヲ放任シテ置カンケレバナラスト云フコトニナルサウ云フコトニナルト非常ニ破産手續ト云フモノガ却ッテ害ヲシヤシナイカト云フコトニナルノデス、ソレデ又更ニ考ヘマスト此破産法案ノ根本ノ主義トスカリ違ッテマシマスハスケラナラス、而モ實行ガ出來ナイシ、破産ノ宣告ト云フモノハ甚ダ有耶無耶ニ終ッテ其間ニ於テ先シズレバ人ヲ制ス、狹狹ナル債權者ニハ強固執行ヲサレシマウ、結局破産手續ト云フモノハ行ハナイデ破産ヲ止メタ方ガ宜イト云フコトマデニ結論ガナリヤシナイカト思フ、其趣旨ノ意見ヲ持ッテ來タ人ニ大體話シテ置イタ、サウ云フ次第デ私ハ其分ハドウモ此修正意見ニハ如何ニシテモ賛成スルコトガ出來ナイト云フ考ヲ私ハ持ッテ居ルノデアリマス

○藤田四郎君 若シ果シテサウ云フ方ガ適當デアルト云フコトナラバ、法文ニ隨分低觸スルコトガ澤山ゴザイマセウト思ヒマスカラ、改正ノ途モゴザイマセウケレドモ、大體只今アルヤウナコトハ一旦破産宣告ガアリマシテモ強制和

議ノ方法ニ依ッテ之ヲ解除シ得ル途モアルデアリマセウカラ別段差支ナイデヤゴザンセヌデセウカ

○政府委員(山内確三郎君) 詰リ破産ノ宣告ヲシタ後ニ解除ノ方法ガアリマスガ結局只今ノ私ガ他カラ承ハツタ意見デハ宣告スルノハ此法文ノミナラズ、今度ハ和議法ト云フモノガ出來マスカラシテ債權者一人ガ破産ヲ申請シテモ債務者ノ方デ先ヅ債權者ニ和議ヲ求メルト云フ申立ヲスレバソレデ一人ノ申請デ破産ヲ宣告スルコト云フコトヲ止メル途ト云フモノハ債務者ニシテ誠意ガアルナラバ出來ルコトニナッテ居ル、ソレデ一人ノ申請ニ依ッテ破産ノ宣告ヲ止メルト云フ方法ハ完全ニ將來盡サレルコト、考ヘル

○委員長(伯爵松平賴壽君) ソレナラバ如何デゴザイマセウカ破産法ハ一時之デ質問ヲ終リマシタコトニイタシマシテ和議法ニ移リマス、モウ十二時チヨット前ニナリマスガ、午後ニ亘リマシテ午前はデ……午後ハ一時半カラ開キマス

午前十一時五十一分休憩

午後一時四十六分開會

○委員長(伯爵松平賴壽君) 午前ニ引續イテ委員會ヲ繼續イタシマス、和議法第一章、政府ノ御説明ヲ煩ハシマス

○政府委員(池田寅二郎君) 大體ノコトハ既ニ説明ガ終ハツテ居リマスルカラ、直チニ條文ニ這入ッテ御説明ヲ申上ゲマス、第一章ハ和議手續全體ニ通ジマスル通則ヲ極メタモノデアリマス、先ヅ此法律デ和議ト稱スルノハ破産ヲ豫防スル目的ヲ以テスル強制和議ト云フ意味デアリマス、ト云フコトデ、本法ニ規定セントスル和議ノ性質ヲ明ニ致シマシタノデアリマス、第二條ハ矢張破産法ニアリマシタノト大體類似ノコトデアリマス、和議手續ト云フモノハ和議手續ノ開始決定ノ時ヨリ其效力ヲ生ズト云フコトデアリマシテ、是ハ先ヅ和議ノ申立ト云フモノヲ致シマシテ、ソレカラ一ト通り審議ヲシマシテ、是ハ和議ヲ始めメモ宜シイト云フコトノ見据ガ付マシタ所デ、和議ヲ開始スルコトニ決定ヲ致シマシテ、ソレカラ初メテ和議ノ條件ヲ提示シ、債權者ト云フモノ、會議ガアツテ、サウシテ其和議ノ決議ヲ爲シ其決議ニ對シテ裁判所ガ認可ヲスルト云フコトニ依ッテ和議ガ的確ニ成立ツト云フ譯ニナリマス、ソレデ愈々此和議ト云フモノ、手續ニ這入ルノハ、和議ノ手續ヲ開始シテカラスト云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ第三條ハ此和議事件ノ管轄裁判所ノ規定デアリマシテ、破産法ト同様ニシテ居ル譯デアリマス、是ハ和議ガ抑モ破産ヲ豫防スルノ目的トシテ居リマスルケレドモ、亦其手續ガ出來マセナンダ時ニハ、直チニ破産手續ニ引移ルト云フコトニナッテ

居リマス、旁、同一ノ裁判所管轄スルト云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ第四條ハ取戻權ノ規定デアリマシテ矢張和議手續ノ開始イタシマシテモ、取戻權等ノ行使ハ差支ナイト云フ所カラシテ、其手續ニ關スル規定ヲ準用シテ居ルノデアリマス、第五條ハ相殺權ニ關スル規定デゴザイマス、債權者ガ同時ニ債務者デアリマス場合ハ相殺ヲスル、之モ矢張和議手續ニ於テ之ヲ行ハシメテ差支ナイノデアリマスカラ、之モ和議手續ニ準用スルコトニナッテ居リマス、ソレカラ此取戻權ヲ實行シ、相殺權ヲ實行シマスルニ付テハ破産ノ中立、若クハ破産宣告ト云フコトガ此適用上基準ニナッテ居リマス、和議ノ場合ニハサウ云フモノハアリマセヌケレドモ、恰モ和議開始ノ中立、ソレカラ和議ノ開始ト云フモノガソレニ相當スルモノデアリマスカラ、取戻權、相殺權ヲ實行シマスル手續ヲ適用スルニ付テハ恰モ和議ノ中立ヲ破産ノ中立ト見做シ開始ヲ之ヲ破産ノ宣告ト見立テマシタ、サウシテ此手續ヲ準用スルコトニナル譯デアリマス、ソレカラ第七條ハ和議手續ニ關スル裁判ニ對シマシテ先ヅ原則トシテ抗告ヲ許サナイト云フコトニ致シマシタ、特ニ抗告ヲ許スベキ規定ヲ設ケテ居リマスルモノニ限ッテ利害關係人ヨリ即時抗告ガ出來ル、斯ウ云フ趣旨ノ規定ガ設ケテアリマス、特ニ許シテ居リマスモノト致シマシテハ、例ヘバ本法ノ二十條、五十三條、六十二條ノ如キモノガ特ニ即時抗告ヲ許スト云フコトヲ極メテ居ルノデアリマス、ソレ破産ノ方ト違ヒマシテ、成ルベク調和方法ヲ以テ事ヲ解決スルト云フ是ハ全體ノ手續デアリマス、殊ニ之ヲ特ニ迅速ニ極メルト云フ必要ガアリマスカラ、大概ノ事ハ不服ヲ許サナイデ着々極メテ行キマス、斯ウ云フ主義デアリマス、破産法ト其點ガ變ハッテ居ル所デアリマス、ソレカラ第八條ハ和議ヲ開始イタシマスル、或ハ和議ガ取消サレルコトガアリマス、色々和議手續上ノ裁判ヲ致シマシタ場合ニ破産ニ於ケル登記登録スルト同様ノ意味ヲ以テ登記登録スルト云フ必要ガアリマス、其手續ハ恰モ破産ノ場合ト同様デアリマス、ソレデ破産法ノ百十九條以下ノ茲ニ列舉シテ居リマスル規定ヲ準用シタ譯デアリマス、矢張此和議手續ニ付テノ登記登録ノ事ヲ定メタモノデアリマス、ソレカラ第九條ハ此和議ト云フモノト破産トノ聯絡ヲ極メテ規定デアリマシテ、和議廢止ノ決定ガアト、是ハ後ニ定メタアリマス、或ハ和議ヲ不認下スル、或ハ和議ヲ取消ス、ト斯ウ云フ場合ニ於キマシテハ、即チ和議ガ愈々失敗ニ終ハタト云フ場合デアリマス、ソレデ一體和議ヲ開始イタシマスルニ付テハ債務者ガ破産ノ状態ニ在ルコトヲ必要トシテアリマス、ソレデ愈々和議ガ出來ナイト云フコトニ極マリマシタ以上ハ直々破産ノ宣告ヲスルト云フコトニナッテ居リマス、デ其

聯絡ノ規定ヲ設ケタモノデアリマス、從ラニ和議ノ爲ニ破産宣告ノ遅レナイト云フコトヲ期シテ居リマス、ソレカラ第十條ハ此強制和議ノ取消ノ場合ニ於ケル三百三十六條ノ規定ト略々同趣旨ノ規定デアリマシテ、即チ強制和議ガ取消サレマスレバ破産ガ更ニ續行サレルコトニナル、和議ノ廢止ガアリマスレバ、直チニ破産宣告ト云フコトニナルノデアリマス、破産宣告ガアリマシタ時分ニ、破産法第一編ノ適用ハ即チ或ハ否認權デアルトカ、或ハ別除權デアルトカ、色々絕對的ノ規定ヲ適用シマスニ付テハ矢張此破産ノ中立若クハ支拂ノ停止ト云フヤウナコトヲ基準ニシテ適用サレルコトニナッテ居リマス、此場合ニ於キマシテ、和議ヲ廢止シテ直チニ破産ノ決定ヲ致シマシタ時ニハ、其破産法一編ノ適用ヲスルニ付テハ和議開始、若クハ和議取消ノ申立、又ハ詐欺破産ノ罪ニ該タルバキ和議申立人ノ行為、是モ和議ノ廢止ノ原因トシテ規定サレテ居リマス、ソレ等ノ行為ハ之ヲ破産法ヲ適用スルニ當ッテハ支拂ノ停止、又ハ破産ノ申立ト見立テ破産法一編ノ適用ヲスル、斯ウ言フ事ヲ極メタノデアリマス、ソレカラ其手續ニ要シタル所ノ費用ハ破産ニスレバ財團債權トシテ先ヅ辨濟ヲ受ケシムルト云フコトニナル、ソレカラ第十一條ハ此外國人ガ日本ノ破産法上ニ於ケル地位ハ如何ナル地位ヲ持ツカ、ソレカラ外國ニ於テ宣告サレタ破産內國ニ於テ宣告サレタ破産ガ御五ニ如何ナル效力ヲ持ツカト云フ規定デアリマス、ソレガ破産法二條、三條、ソレカラ百九條以下百十八條ハ其助手續、破産ノ審理スルニ付テノ手續原則ヲ極メタモノデアリマス、ソレカラ百二十五條ハ免許ヲ要スル法人ニ付マシテ破産ノアリマシタ時ニハ、其主務官廳ニ之ヲ知ラシムルト云フ規定デアリマス、是等ノコトハ和議ノ場合ニハ又之ト同様ニ取扱ッテ差支ナイト云フ所カラシテ是等ヲ和議ニ關シテ準用スルト云フコトニ極メタモノデアリマス、ソレカラ第二項ハ和議ノ手續ニ付テ本法ニ別ニ定メナキ時ハ原則ハ民事訴訟法ニ依ルト云フコトニ定メタモノデアリマス

○藤田四郎君 第一條ニ強制和議ト稱スルハ破産豫防ノ爲ニスル強制和議ヲ謂フ、是レハ分カッテハ居リマス、破産法デ強制和議ト云フ言葉ヲ使ッテアルノニ同ジヤウナ風ニシヤセスカト見エマスガ、是ハ斯ウ云フモノヲ使フ必要ガアルデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 矢張此和議法ニ於キマスル和議モ關係者全員ノ合意ノ上デ成立ツト云フモノデアリマセヌ、債權者ノ側ニ於キマシテ矢張相當ノ多數決ヲ以テ事ヲ極メマシテ、少數ノ者ハ異議ガアリマシテモ、ソレニ服セネバナラスト云フ結果ヲ生ズルノデアリマスカラ、其本質ハ破産豫防法ニ申シマスル強制和議ト同様ナモノデアリマ

ス、唯破産法ハ破産手續ニ依リマス同時ニ之ヲ圓滿ニ解決シヤウト云フ遣方デアリマス、是ハ破産ノ前ニ當リマシテ破産ヲ豫防スル爲ニ之ニ類似ナコトヲアルスウ云フノデアリマス、此目的ニハ相違ガアリマスガ、大體其性質ノモノト云フ所カラ破産豫防ノ爲ニスル強制和議ト云フコトヲ書カレタ次第デアリマス

○菅原通敬君 唯今藤田君カラ御尋ニナリマシタコトハ私モ前同ニ應同ジヤウナコトヲ御尋シタノデアリマス、今ソレニ對スル御説明ヲ伺ヒマシテモ破産法ノ所謂強制和議ト、和議法ノ所謂強制和議トノ間ノ區別ガ文字ノ上ニ於テハドウモハッキリセヌ、同ジク破産問題ノ起リマシタ場合ニ一方ハ豫防ノ爲ニシヤウ、一方ハ都合ノ爲ニシヤウト云フ區別ガアルニ拘ラズ同ジク強制和議ト云フ言葉ヲ以テ之ヲ言ヒ現スト云フトトラノ方法ニ從ハナケレバナラヌカ、彼ト是トノ間ニエライ面倒ヲ惹キ起ス虞ガアルト思ヒマスガ、何カ言葉ノ違ッタモノデ之ヲ言ヒ現スト云フノガ便宜デナイカト思フノデアリマスガ、ソコニ付テハ餘リ深ク問題ニデモナクコトハナカッタノデアリマス、ソコヲ一ツ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(池田寅二郎君) 審議ノ際ニ於キマシテハ此一條ニ於テ強制和議ト云フ文字ヲ使フ方ガ宜シイカ、或ハドウカト云フコトニ付テハ相當話出マシテ、議ヲ盡サレタコト、承ハッテ居リマス、矢張此全體ヲ茲ニ現シテ置キマス方ガ是ヨリ先キ和議手續、和議和議ト云フコトヲ始終引イテ書イテアリマスルガ、唯和議ト申シマシテモ如何ニモ本體ガ明カデアリマセヌ、矢張和議ト云フケレドモ全員ノ一致デ成立ツモノデアリ、所謂強制和議デアアル、而カモ是ハ破産豫防ノ爲ニスルモノデアルト云フコトヲ一應茲ニ論ッテ置ク方ガ是ヨリ後ノ規定ヲ致シマスルノニ付テモ便宜デアアル云フコトカラ此通りニナッタ次第デアリマス

○菅原通敬君 此説明書ナドヲ拜見シマス、云フト破産法ノ奴ハ強制和議デアリマス、和議法ノ方ハ單ニ和議デセウ、斯ウ云フヤウニ使ヒ分ケテ居ラレルヤウニ見エマスガ、サウ云フヤウニ矢張區別セラレテ行ク御見込ミナデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 唯今御話ノ通りニ此方デハ第一一條デ以テ其本質ト云フモノヲ論ッテ居リマス、二條以下ニ於キマシテハ總テ和議ト云フコトヲ進ンデ居リマス

○菅原通敬君 サウスルト第一條ニ於テ本法ニ於テ和議ト稱スルハ破産豫防ノ爲ニスルモノヲ謂フト云フコトデ強制ト云フコトヲ殊更ニ加ヘテ破産法ノ奴ト如何ニモ混同ヲ惹起サウナコトハ避ケタ方ガ宜イノデアアルカト思フ

○政府委員(池田寅二郎君) 結局文字ノ問題デアリマスガ本質ハ破産豫防ノ爲ニスル和議ト云フコトデハ少シ足

リナイカト思ヒマス、矢張單純ニ和議ト申シマス通意普
味ノ現ス所デハ全員ノ協議和解ニ依ルト云フ風ニ見エマ
ス、本法デ示サントスル所ハソレデハナイ、矢張總員ノ一致
ヨリ成ルモノデナイ、強制和議デアルト云フコトヲ現シテ
始メテ本質ガ分ルト云フコトニナルカト思ヒマス

○菅原通敬君 サウ云フ強制的ノモノデアルト云フコトハ
第二條以下ノ手續其他ヲ見レバ分ルコトデ、強制的ノモノ
デアルヤ否ヤト云フコトハ自ラソレデ分ルダラウト思フ
ガ、コトヘ提議シテ強制和議ト斯ウ言ハレルカラソレデ
混同スル處ガアリヤシナイカト云フ懸念ガ生ジテ來ル、或
ハ之ヲ強制和議ト書カズニ強制的ノ和議ヲ云フナラマダシ
モデアル

○藤田四郎君 菅原君ノ御質問ニ附ケ加ヘテ申上ゲタイ
思フ、私モ強制ニ依ル和議ト云フナラマダ宜イト思ヒマス
ガ、今朝程頂戴シマシタ材料ニ依リマス、外國ニハ一箇條
ハナイヤウデスナ、是ガナケレバ誠ニヨク分ルノデスガ、ア
ルガ爲ニ疑ヲ起スノデスガ、外國ノ方ト比較シテゴザ
イマス、此第一條ニハ何ニモアリマセヌデスナ、外國ニハ矢
張書イテ居ラヌノデハゴザイマセヌデセウカ

○政府委員(池田寅二郎君) 今文例ヲ茲ニ持チマセヌデア
リマスガ、大分法律文ノ作り方ハ此方ト違フテ居リマスル
ノデアリマス、或ハナイ所モアルカ知ラヌト思ヒマス、
○藤田四郎君 第一條ハ一ツモゴザイマセヌ、一層初メカ
ラ強制和議ト破産ニ據ラナイ、ソレハ構ヒマセヌガ、強制
和議法ト云フコトナラマダ宜シイノデアリマスガ、唯、和議
法ノ箇條デ以テ強制ニナルコトハ間違ナシデスケレドモ、
第一條ヲ置カレト云フノハ何ダカ破産法ト一様ニナッテ
仕舞フヤウデ、尤モ手續ハ大抵似タモノデセウト思ヒマス
ケレドモ、強制ニ依ル和議トカ、何トカ言ヘバ疑ハナイノデ
スケレドモ……

○菅原通敬君 マダソレナラバ宜イデス
○藤田四郎君 後カラデモ宜イデス
○委員長(伯爵松平頼壽君) 後ニシマセウ、他ニ御質問ア
リマセヌカ
○男爵矢吹省三君 序デニ和議ト云フ言葉ハドウ云フ名ニ
使ハレタノデアリマス、普通和議ト申シマスノハ戦争ノ
場合トカ云フノデ、個人ノ場合ニハ餘リ使ハヌヤウニ思ヒ
マスガ、チヨット目新シイ言葉デアリマスガ、何カ根據ガア
ルノデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 深イコトハ私ハ承知シテ居
リマセヌデアリマス、尙ホ其コトハ取調ヘマシテ御答ヘ
スルコトニ致シタイト思ヒマス。
○委員長(伯爵松平頼壽君) 別段質問ゴザイマセヌケレバ

貴族院破産法案外一件特別委員小委員會議事速記第八號

第二章ニ移リマス、和議ノ開始

○政府委員(池田寅二郎君) 第二章ハ和議開始ニ關スル手
續ヲ決メテ居リマス、先ツ破産ノ原因ガアル、支拂不能ノ事
實ガアル、ト云フ場合ニ於テハ債務者ノ方カラ和議開始ノ
申立ヲ爲スト云フコトニナッテ居リマス、法人ニアリマシテ
ハ其理事者ノ一致ヲ以テ之ヲ爲スト云フコトニナッテ居
リマス、相續財産ニ付キマシテハ此和議ノ申立ハ之ヲ許サ
ナイコトニシテ居ル、強制和議ノ方ハ既ニ起リマシタ破産ノ
結果ヲ付ケルト云フコトデアリマス、此方ハ和議ハ稍、ソ
レト事情モ異ナリ居リマス、尙ホ一層人ヲ見ル、債務者其
人ヲ見ルト云フ必要モアルノデアリマス、相續財産ニ付キ
ヲ見ルト云フコトハ適當デアリマイト云フコトデ之ヲ許サ
ナイコトニナッテ居リマス、ソレカラ十三條ハ恰モ強制和議
ニ付マシテ破産法ノ二百九十四條ト同ジヤウナ趣旨デア
リマス、先ツ和議ノ申立ヲスルノニハ辨濟ノ方法、或ハ擔保
其他條件ヲ示スト云フコトニナリマス、ソレカラ申立デ
ル同時ニ自分ノ財産ノ狀況ヲ示スベキ書類等ヲ提出シ債權
ノ條件ヲ明ニスルト云フコトニナッテ居リマス、是デ自分
ノ財産ヲスツカリ提出シテサウシテ和議ノ申立ヲスルト云フ
コトニナル次第デアル、ソレカラ第十四條ハ其和議開始ノ
申立ヲスルニハ矢張結局和議ガ成立チマセヌ、債務者ノ
方カラ其費用等ハ拂フト云フコトニナリマセヌケレドモ、
ソレマデノ間或ハ抗告其他ノ費用モアルノデ一時ノ用ヲ辨
ズル爲ノ手續費用ト云フモノヲ豫納セシムルト云フコトニ
ナッテ居リマス、破産ノ申立ノ場合ニ於キマシテハ債權者ガ
之ヲ申立ツル時ニ限リテ費用ヲ豫納ト云フコトニナッテ居
リマス、債權者ノ方カラノ申立ニハ費用ヲ豫納ト云フコトハ
無い、和議ノ場合ニハ大分破産ノ場合トハ事情ガ變ハッテ居
リマス、ソレナラズ破産ノ方デアリマス、一種ノ強制執行
デアリマス、債權者ガ申立ヲシマスルノハ矢張自己ノ爲ニ
強制ヲ執行スルコトデ費用ヲ出スト云フコトハ定メテ居
リマス、債務者側ニ之ヲ豫納セシムルト云フコトハ少シク其
字義ニモ合ハヌト云フコトモアリマス、コチカラ方デハ和
議ノ申立ヲスルニハ債務者自身ガ即チ和解ヲシテ適當ニ自
分ノ進路ヲ更ニ開キタイト云フ所カラ申立テ居ル譯デアリマ
ス、ソレデ債務者ニ其費用ヲ責メ命ジテスルト云フコトモ
敢テ差支ハナイ、ト云フコトデ其間ニ區別ガ付イデ居ル
次第デアリマス、ソレカラ十五條、十六條、十七條ハ和議ト
云フモノト破産トノ關係ヲ定メテ居リマス、破産法ヲ豫防
スル爲ニ此手續ヲ始めルノデ或ハ此折角整理ガ出來カ
テ居ルト云フ場合ニ破産ノ申立ヲ或債權者ガヤッテ其爲ニ
整理ヲ妨ゲルト云フコトハ隨分其弊ガアル所デアリマス、
其和議ノ手續ヲ茲ニ定メタノハ其弊ヲ除クト云フコトモ一

ツノ目的ニナッテ居リマス、デアリマス、此和議決定後ニ
アリマシテ愈々和議手續ヲ實行スルト云フコトニ極マリマ
シタ後ニハ破産ノ申立ト云フモノハ許サヌガ、ソレマデノ
間ハ破産ノ申立ト云フモノハ許シマスケレドモ、併ナガラ
和議ノ申立ガ茲ニアリマスレバ破産ノ方ハ一時之ヲ中止シ
テ和議ノ方ヲ進メテ參ルト云フコトニナッテ居リマス、ソレ
ヲ破産ノ宣告ガ茲ニ愈々アリマシタ以上ハ是ハ無論和議開
始ノ申立ヲスルト云フコトハ許サナイ、破産豫防ノ爲ニス
ルモノデアリマス、カササナイト云フコトハ當然ノコトデ
アリマス
○藤田四郎君 今ノ十七條マデノ御説明ニ依リタスト益々
此第一條ノ何が不充分ノヤウニ思ヒマスガ破産法ノ二百九
十條ニ於テハ強制和議ト云フモノハ債權者ニモ出來ルヤウ
ニナッテ居ルサウシテ何時デモ出來ルヤウニナッテ此法文
第一條ノ強制和議ト云フコトヲ致スト云フコトニナッテ其
強制和議ヲ申立テ居ルコトガ出來ナクナッテ來ル破産宣告前
ナラ出來ル、ソレカラ破産宣告後ナラ此方デハ和議ガ出來
ナイト云フコトニナルト何ダカゴチャ、スルヤウデアリ
マス、カ、モウ少ノ御考ヲ願ヒタイ、御諒解下サイマシカ
○政府委員(池田寅二郎君) チヨット速記ヲ御止メ下サイ
○委員長(伯爵松平頼壽君) チヨット速記ヲ……
〔速記中止〕
○委員長(伯爵松平頼壽君) 引續イテ十七條ヲ御説明ヲ願
ヒマス
○政府委員(池田寅二郎君) 十七條ハ此和議開始ノ申立ガ
一方ニ出テ居リマシテ同時ニ又破産ノ申立ガ出テ居ル、其
時ニ破産ノ原因ノアリマス時ニ和議開始ノ申立モ出來マス
次第デアリマス、破産ノ申立モ勿論出來ル、此申立ガ兩様出
テ參リマシタ時ニハ破産ノ方ハ一時止メテ破産手續トシテ
ノ調ノ進行ヲシマセヌデ、和議ノ方デ以テ調ノ進行ヲスル、
斯ウ云フノデアリマス
○菅原通敬君 破産ノ申立ガアツタケデハマダ破産手續
ニハ移ラズ居ラヌ管デス、又破産手續ト云フマデニハ進ンデ
居ラナイ、申立タケデハ、サウスルト茲ニ破産手續ハ之ヲ
中止スルト云フコトハドウ云フコトデアリマス、カ
○政府委員(池田寅二郎君) 御尤モノ御疑デアリマスガ茲
ニ破産手續ニスルト申シマシタノハ茲ニ破産ノ申立ガアリ
マスレバ裁判所ハ其申立ニ付マシテ、其調ヲ進メナケレバ
ナラヌ譯デアリマス、即チ破産ノ事件ノ調ヲ進行セネバ
ナラヌ譯デアリマス、其調ノ進行ト云フモノハ之ヲセナ
イト云フ意味ガ此破産手續ニ書イテアル、茲ニ申シテ居
リマスノハ極ク廣イ意味デ以テ破産事件ガ裁判所ニ繫屬シタ
以上ハ矢張其取調ヲシ、ソレカラ又法定ヲスルナラ決定ヲ

致シテソレカラ先ニ進行スルコト云フヤウニナッテ、ソレ等ノコトノ寧ロ全體ヲ見マシテ茲ニ破産手續ト云フコトニ定メラレタリトナリデス

○菅原通敬君 是ハ第一ノ破産ガ出テ手續ガ進行シテ居ル、其處ヘ持ッテ行ッテ第二ノ破産ノ申立、和議ノ申立ガ出來タ、斯ウ云フ場合ヲ想像シタモノデハナイノデアリマス

○政府委員(池田寅二郎君) 是ハ全ク其和議ト云フモノハ破産ヲ豫防スル目的デアリカラソレデ此破産事件ト和議事件ガ茲ニ併立シタ場合ハ、破産事件ノ方ハ之ヲ止メテ、所謂強制和議ト云フモノヲ試ミテ見ル、愈イケナカッタ時ニ今ノ第九條デ以テ破産宣告スル斯ウ云フ趣意デアリマス

○加太邦憲君 此十七條ハ、丁度只今御説明ニナツタ通り、此二ツノ申立ガ同時ニアタルトキト云フト分リ易イヤウデスガ、併シサウ云フト之ヲ狭ク解釋スルト日ガ違フテ居ラハハイカヌヤウニナルカラ、ソレデ同時ナドト云フコトハハ省イテアル譯デゴザイマセウカ

○政府委員(池田寅二郎君) 其通りデアリマス、其出テ参リマス時ガ同時ト云フ意味デヤアリマセウ、破産ノ宣告アリマスレバ其破産ノ方ハ一時止メテ置イテサウシテ和議ヲ以テ成ルタ破産宣告ヲシナイデモ宜イコトニナルヤウニ、一應和議ヲ試ミル、和議ガ愈々失敗シタ時ニ破産ノ宣告ニ移ル斯ウ云フ意味合デス

○藤田四郎君 詰リ此場合ノ破産申立人ハ債權者ノ方デスネ、債權者ガ和議ヲ申出デテ債權者ガ破産ヲ申請シタ、斯ウ云フ場合ニナルデセウネ、決定ニ至ラヌ中ニ……

○政府委員(池田寅二郎君) 一應破産ノ申立ラシテ置キマシテモ、更ニ和議ノ申立ラ致スト云フコトハ差支ナカラウト思ヒマス

○藤田四郎君 ソレハマア自分デ兩方ヤラウト云フ人ハアリマセウケレドモ、同時ニサウ云フ事ヲヤルト云フコトハナイノデアリマスカラ、多クノ場合ハ相手方違ヒマスナ、進行シタ模様ニ依ッテハ變ハツテ來マセウケレドモ、マダ決定ニナラヌ中ニ兩方申立テラト云フコトハ事實ナイデセウ

○菅原通敬君 十七條ノ場合ハ實際ハ斯ウナリマセウ、最初破産ノ申立ガ出テ居ル、ソコヘ持ッテ行ッテ次イデ和議ノ申立ガ出テ來タ、サウスレバ前カラ問題ニナツテ居ル其破産ノ方ノ手續ヲ中止スルノダ、斯ウ云フコトノ順序ニナルダラウト思ヒマスガ、前ニ破産ノ申立ガナクシテ、サウシテ和議開始ノ申立ガ、アツタ場合ニ於テハ、ソレハ其第十五條ニ於テ和議開始ト云フコトノ決定ノアツタ後デナケレバ破産手續ノ中止ニハナラヌ解釋ニナラウト思ヒマス、矢張サウ云フコトニナルノデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 其通りト思ヒマス、詰リ其ノ初メ破産ノ申立ガアツテ、マダ破産宣告ニ至ル前ニ更ニ和議ノ申立ガアツタト云フ時ニハ、破産ノ方ハ止メテ置キマシテ以テ先ヅ試ミル、ソレカラ反對ノ場合ニ於キマシテモ初メ此和議ノ申立ガアツタ、而シテマダ開始決定ト云フコトマデニハ至ッテ居ラナイ、開始決定スルマデニハ相當調ラシマシシテ見込ガ付イタ時ニ決定シマス、ソレ迄ノ間ハ破産ノ申立ヲスルノハ妨ハアリマセウ、デアアルカラシテ破産ノ申立ヲスルノハ差支アリマセウ、開始決定ニ至ルマデハ止メテ置ク、破産ノ申立ヲスルノハ差支ナイ、斯ウ云フ意味デアリマス

○藤田四郎君 次ヲ願ヒマス

○委員長(伯耆松平頼壽君) 第十八條ハ此和議開始ノ申立ヲ棄却スベキ場合ヲ列舉シテ居ルノデアリマス、詰リ和議手續ヲ始めタルト云フコトノ不可ナルコトノ明カナル場合ヲ茲ニ定メテ譯デアリマス、初メヨリ此破産ヲ避ケル目的デ以テ申立ヲスル、是モマア或ハ和議手續ヲ實行シマシタナラバ、斯ウ云フ餘弊ガ生ゼヌトモ限リマセウ、サウ云フ場合ニハ矢張棄却セネバナラス、ソレカラ和議申立人ノ所在ノ不明ナルトキ、或ハ詐欺破産ノ罪ニ該タルベキ行為アリト認メタルトキ、是ハマダ破産ノ手續ヲシテ居リマセウカラ、詐欺破産ノ罪アリト見タ者デモ、調ベテ見タ所デ、如何ニモ是ハ詐欺ノ行為ガ頗ル多イ、斯ウ見ラレマシタトキニハ逆モ和議ノ申立ヲスルコト云フコトハイカナイ、ソレカラ和議條件ノ規定ニ反スルトキ、和議ノ條件ニ付キマシテハ二十

九條ノ末項デ以テ破産法ノ強制和議ニ對スル規定ヲ準用セラレテ居リマシテ、一定ノ條件ガアリマス、ソレニ反スルトキ、ソレカラ和議ノ條件ガ和議債權者全體ノ利益ノ上カラ考量シマシテ面白クナイト云フ場合ニハ先ヅ和議開始ノ申立ヲ棄却スル、ダカラ和議ニ進メナイ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ十九條ハ裁判所ノ裁量デ以テ和議ノ申立ヲ却下シテモ宜シイ場合ヲ規定シテ置ク、手續費用ノ豫納ノ無イ場合トカ、或ハ管テ和議ノ提起ハアツタケレドモガ、集會ヲ開イタ所ガ否決シタト云フ履歴ガアル、又和議開始ノ申立若クハ和議ノ提供ヲ撤回シタルヤウナ履歴ガアル、不認可ノ決定、取消ノ決定ヲシタト云フヤウナ履歴ガアルト云フ者ニ付マシテハ、一應不眞面目ナルモノト推測ヲ下スベキモノデアリマス、斯ウ云フモノニ付マシテハ裁判所ノ見込ニ依テ和議ノ開始ノ申立ヲ棄却スル、ソレカラ第十條ハ此和議ヲ愈々始メマス、開始決定ヲ致シマスレバ茲ニ相當ノ取締付イテ参リマス、ソレマデノ間ニ所謂保全處分トシマシテ債權者ノ債權ニ關シテ相當ノ取締

命令ヲ下スコトガ出來ル、是ハ破産ニ付マシテ百五十五條ノ規定ト先ヅ同一ノ規定デアリマス、ソレカラ第二十一條ハ先ヅ此和議ノ申立ガアリマス、果シテ其和議ヲ愈々開イテ見込ガアリヤ否ヤト云フコトヲ調べ、必要ガアリマス、サウ致シマス、徒ラニ破産ヲ延バスト云フコトガアリマス、殊ニソコデ調べル爲ニ裁判所ハ整理委員ト云フモノヲ選任シマシテサウシテ債權者ノ財産帳簿ノ状態又和議ノ條件ニ必要ナル事柄ヲ一應取調ベマシテ、サウシテ是ナラバ和議ヲ進メテ見込ガ付イタ、或ハ無イト云フコトノ意見ヲ裁判所ニ出サシメタルト云フコトニナリマス、整理委員ハ自分デ相當ト見マスレバ鑑定人ヲ置キマス、サウシテ債權者ノ財産状態ト云フモノヲ詳細ニ調査ラ致スト云フコトニナリマス、ソレデ第二十二條ハ其調査ヲ致スト云フコトニアリマス、整理委員申立人ガ其調査ニ付テハ拒ム事ハ出來ナイ、ソレカラ二十三條モ同趣旨デアリマシテ、百五十三條ト云フモノハ破産者ガ管財人等ニ對シテ説明ヲスル所ノ義務デアリマス、是モ和議申立人ハ整理委員カラ説明ノ要求ガアレバ應ジテ説明ヲセネバナラス、是デ以テサウシテ是ナラバ和議ヲシテモ宜イカ否ヤト云フコトヲ整理委員ガ見込ラシテマシテ、之ヲ裁判所ヘ報告スルソレニ依ッテ判斷ヲスル、斯ウ云フ手續ニナル次第デアリマス、ソレカラ二十四條ハ整理委員ノ解任ニ關スル規定デアリマス、ソレカラ二十五條ハ破産管財人監督報酬或ハ注意ノ義務等ノ規定、百七十二條ハ監督委員ノ表決ニ關スル規定デアリマシテ、是等ノコトハ總テ整理委員ニ之ヲ當テ欲メタルベキデアリマス、ソレカラ之ヲ規定シタ譯デアリマス、ソレカラ二十六條ハ愈々之デ以テ調べ上ゲマシタ上適當ト認メマスレバ、和議開始ノ決定ヲ致スト云フアリマス、之デ始メテ和議ニ進入ル、ソレデソレニハ決定ノ年月日時ヲ舉ゲネバナラス、恰モ破産宣告ノヤウナモノデアリマス、ソレカラ愈々和議ガ開始ニナリマス、茲ニ管財人ヲ選任スルコトニナリマス、ソレガ二十七條、サウシテ債權者ガ一方ニ於テ會議ヲシテ是レノ債權者ノ申立ラシテ認スルヤ否ヤト云フコトヲ決メナケレバナリマセウカラ、債權ノ届出ノ期間ト云フモノヲ決メ、ソレカラ債權者集會ノ日取ヲ決メマシテ、サウシテ之ヲ公告スルコト云フコトニナルノデアリマス、其公告ノコトハ其次ニアリマス、即チ第二十八條ハ其開始決定ガアリマスレバ其開始決定ノ主文ナリ管財人ノ氏名、債權ノ届出ノ期間及債權者集會ノ日取等ヲ公告イタシマス、ソレカラ裁判所ニ分カテ居ル債權者或ハ和議申立人、管財人、整理委員等ニハ是等ノ和議ノ條件、整理委員ノ意見ノ要領ヲ記載シタル書面ヲ廻ハシマス、之デ以テ申立ラシテ認ス

ルヤ否ヤ決メル材料ヲ供スル譯ニナルノデアリマス、ソ
レカラ二十九條ハ和議開始決定ニ對シテ即時抗告ヲ許スト
云フコトニナリ居リマス、ソレデ此即時抗告ノ結果、上級
審デ以テ開始決定ヲ取消シテ、開始サルベキモノデナイト
云フ事ガ決マリマシタ時ニハ、直デニ之ヲ公告スルト云フ
意味ノ規定デアリマス、ソレカラ三十條ハ和議申立ニ關スル
書類並ニ整理委員ノ意見書等ハ、之ヲ利害關係人ニ見セル
爲ニ裁判所ニ備ヘル、ソレカラ三十一條カラハ、此和議開始
ノ申立ガアリマシテカラ、和議ノ決定ニ至リマス迄ノ間、債
務者ハ通常ノ範圍ニ屬セザル行爲ヲ爲ス事ハ出來ナイ、愈
ミ和議ノ申立ラシテ即チ財産ヲ提出シテ和議ヲシテ貰ヒタ
イト云フ申立ラスル、ソレカラ果シテ和議ガ進ムヤ否ヤト
云フコトガ決マリマス迄ノ間、此間ニ餘リ債務者ノ爲ス儘
ニ放任シテ置キマスルコト云フコトハ、和議ノ進行上面白ク
ナイカラ、先ヅ其人々ノ立場ニ依リマシテ、通常ノ自分ノ業
務ニ屬スルコトハ差支ナイ、特ニソレト異ナク取引ヲ茲ニ
新タニヤラウト云フヤウナコトデアリマスレバ、ソレハ許
サナイ、先ヅ是迄通りノ普通ノ業務取引ヲ繼續シテ行クノ
ハ差支ナイガ、ソレ以上ノコトハヤラナイデ置クベシト云
フノガ三十一條デアリマス、ソレカラ愈ミ和議ガ茲ニ開始
決定ニナリマシテ、和議ノ手續ニ這入タト云フ事ニ致シマ
スレバ、是ハ破産ノ方ト違ヒマシテ、破産ノ方ハ極ク嚴格ニ
強制執行ヲスルノガ目的デアリマス、和議ノ方ハ全ク債務
者ヲ活カシテ債務者ノ腕デ以テ其信用ヲ恢復シ、債權者ニ
モ満足ヲ與フル、斯ウ云フ意味ノコトデアリマスカラ、債務
者ノ方デ財産ヲ管理處分スル權利ト云フモノハ、皆依然ト
シテ持ッテ居リテ債務者ニ營業ヲ爲サシメルノデアリマス、
併ナガラ前條ニアリマスヤウニ、通常ノ範圍ニ屬セザル行
爲、其人ノ通常ニマデヤッテ居ル所ノ業務ニ屬セナイ、新タ
ニ茲ニ取引ヲヤラウト云フヤウナコトヲ致シマス時ニハ、
管財人ノ同意ヲ得テヤレ、管財人ハ是ダケ茲ニ行爲ヲ監督
スルノ意味ヲ以テ加ハッテ來ルノデアリマス、又管財人ノ見
込デハ通常其人ノ營業ニ屬スル行爲デモ、之ヲヤラシテハ
面白クナイト考ヘマスレバ、ソレニ對シテ異議ヲ述ベマス、
ソレヲヤラセナイト云フコトモ出來ル次第デアリマス、ソ
レカラ管財人ハソレデケ債務者ノ行爲ヲ監督スルト云フ事
ニナッテ居リマス、前カラ附イテ居リマシタ整理委員ハ矢張
依然トシテ開始決定後ニ於テモ、此期間ハ存續シテ居リマ
ス管財人ノ重要ナル事項ニ付マシテ今ノヤウニ同意スルヤ
否ヤト云フコトヲ決メルニ付テハ、管財人ニ相談シテ其意
見ニ依ッテ之ヲ張スルコトニナルノデアリマス、ソレカラ今
茲ニ規定サレマシタヤウナ三十一條ノ規定、ソレカラ前條
ノ一項、二項ニ關スルヤウナ規定ハ、行爲ノ制限ニナル、之

ニ反シテ債務者ガ假リニ其行爲ヲ致シマシタ時ニハ、其和
議債權者ハソレヲ否認スル、其效力ハ和議債權ニ及ボサザ
ルヲ得ルノデアリマスガ、併ナガラ其行爲ノ同時ニ相手方
ガ其事ヲ知ッテ居ル、是レハ和議申立人ガ勝手ニヤレナイコ
トデアルト云フコトヲ相手方ガ知リナガラ、其相手方トナ
テ取引ヲシタ場合ニハ否認セラルルノデアリマス、善意デ
ヤッタト云フ場合ニハ無論否認ハ出來ナイコトニナルノデ
アリマス、ソレカラ三十四條ハ金錢ノ收支ニ付マシテ、管財
人ガ少シ立入ッテ金錢ノ收支ヲ監督スルコトヲ請求ヲス
レバ、債務者ハ之ニ應ジナケレバナラヌ、之モ監督ノ一ノ手
段デアリマス、管財人ノ見込デ是ハヤル事ニナッテ居リマス、
三十五條ハ裁判所ノ許可ヲ得マシテ管財人デ其債務者及扶
養セラルル者ニ扶助科ヲ出ス、其扶助料ノ額ヲ決メルコト
モ出來ルコトニナッテ居リマス、ソレデ第三十六條ハ管財人
ハ其報告ヲ求メ財産ノ狀況ヲ承知スルコトガ出來マス、何
デモ其報告ヲ求メ財産ノ狀況ヲ承知スルコトガ出來マス、
又整理委員、管財人ニ對シテ其報告ヲ求ムルコトガ出來ル
コトニナッテ居リマス、ソレカラ三十七條ハ此矢張破産法ノ
百五十三條ハ破産者ノ説明義務ニ關スルコト、是モ管財人
監督委員又ハ債權者集會ノ方デ請求ガアレバ、和議申立人ハ
説明ヲシナケレバナラヌコトニナルノデアリマス三十八條
ハ管財人ノ役目ガ終リマシタ時ニハ、早速裁判所ニ其計算
報告ヲシナケレバナラヌコト云フ義務ノ規定デアリマス、ソ
レカラ三十九條ハ此二十四條ノ整理委員ノ解任ニ關スル規
定ニ關スルコトデアリマス、ソレカラ破産法第五十八條
乃至百六十一條ト云フモノハ管財人ノ人數、ソレカラ管財
人ノ選任ノ證書解任ニ關スル規定デアリマス、ソレカラ百
六十三條以下ハ共同シテ職ヲ行フ規定、責任保證等ニ關ス
ル規定デアリマス、是ハ矢張和議ニ於ケル管財人モ同様ニ
取扱ッテ然ルベシト云フノデ、之ヲ準用スルト云フコトデア
リマス、ソレカラ四十條ハ和議手續ハ和議債權ニ付テ、債務
者ノ財産ニ強制執行ヲスルコトヲ止メタ規定デアリマス、
是ハ矢張強制執行ナドニ依ラズ、又破産モヤラナイデ協和ノ
方法デ以テ圓滿ニ解決シタイト云フノガ此和議ノ本旨デゴ
ザイマスカラ、ソレニ反スルヤウナ結果ヲ生ズル行爲ヲ止
メタノデアリマス、所ガ和議手續ヲ開始シマス迄ニ既ニ
強制執行ガ個々ニ始マッテ居タモノハドウスルカト云フコ
トハ、和議ノ手續中ハ之ヲ止メテ、止メテト云フヨリモ寧ロ
中止シテ置キマシテ、愈々和議ガ成立チマスレバ、モウ之モ
必要ガナイコトデアリマス、強制執行モ出來ナイコトニナ
リマスカラ、強制執行等ハ效力ヲ失フト云フコトニナリマ
ス、ソレハ五十八條ニ其規定ガアリマス

○藤田四郎君 十九條ノ第二號ノ所デゴザイマス、和議手
續中ニ於キマシテ、已ニ片一方ニ債權者集會ト云フモノガ
破産法ニヨレバ宣告ノ後ニ出來ル、宣告ニ依ッテ出來ルモノ
デアアル、ソレガ宣告シテアッテソレデ否決シタコトアル時ト
云フコトニナルト、和議開始ト云フコトハナイヤウニ思ヒ
マスガ、タルコトアルト云フ文字ノ遣方デアリマス
○菅原通敬君 チョットソレニ關聯シテ伺ッテ置キマスガ、
之ニ關スル第十九條ノ二號カラ五號迄ノモノヲ見ルト、和
議開始ノ申立ラ二度モ三度モヤッタ場合ヲ云フノデセウ
○政府委員(池田寅二郎君) 之ハ先達テ藤田君ノ方カラ
何ヤシタルコトアルト云フ文例ニ付テ取調ベテ見タラ
宜カラウト云フ御話ガアリマシタカラ、實ハ一通リハ取調
ベテ見マシタガ、チヨット之ニ該當スルヤウナ例ヲ見出シマ
セヌノデスガ、其意味ハ菅原委員ノ仰セニナリマシタ通り
ニ前廉カウ云フ來歴ガアル、前ニ一度蹉跌シタ、巧ク行カ
カッタ例ガアル事件ダト云フ意味デアリマス
○菅原通敬君 二度目以後ノモノト見タラドウデスカ
○藤田四郎君 ソレダケノ事デアリマス分リマスケレド
モ、破産宣告ガアッテ、ソコデ債權者ノ集會ガアルノデアリ
マスカラ、モウサウスレバ普通ノ解釋ノ仕方ニ依リマスレ
バ、此人ハ和議ヲ申立テコトハ出來ナイノデアリマスカ
ラ、資格モ何モナイノデアリマスカラ外ノ條デ分カッテ居ル
ノデアリマスカラ此條ヲ附セヌデモ……
○政府委員(池田寅二郎君) 是ハ全クモウ別ノ事件デアリ
マシテ……
○藤田四郎君 別ノ事件ヲ云フノデアリマスカ
○政府委員(池田寅二郎君) 其人ガ破産狀態ニ瀕シテ和議
ヲ申出タコトガアル、其時ハ巧ク行カナク……
○藤田四郎君 二號以下五號ハ、皆ソレナンデゴザイマス
ナ
○政府委員(池田寅二郎君) タルコトアルト云フノデアリ
マス
○菅原通敬君 茲ニ第三十一條ノ通常ノ範圍ニ屬セザル行
爲ト云フコトハ大變便利ノ言葉デアリマスガ、斯ウ云フコ
トハ何カ用例ガアリマスカ
○政府委員(池田寅二郎君) チヨット今心得テ居リマセヌ
デスカ
○藤田四郎君 今ノ御尋ニ對シテ一緒ニ御尋シタイノデア
リマスガ、外國ノ例ガ此參照ニ載セテアリマスガ、ソレヲ書
イタ文例ノ御調べヲ御持チデアリマスナラバ、ソレヲ讀ン
デ貰ッたら能ク解カラウト思ヒマス、埤地利第八條第三十
六條、此寬令トハ何デアリマスカ
○政府委員(池田寅二郎君) 速記ヲヤメテ……
〔速記中止〕

○委員長(伯爵松平賴壽君) 速記ヲ始めテ

○政府委員(三宅正太郎君) 埵地利ノ第八條ノ第二項ニ斯
ウ云フノガアリマス、和議手續開始以後ハ債務者ハ通常ノ
業務ニ屬セザル事務ヲ爲スニハ和議管財人ノ同意ヲ得ルコ
トヲ要ス、斯ウナッテ居リマス

○藤田四郎君 業務ト云フコトガアルデセウ、ソレナレバ
業務ト云フコトハアレバ分ルガ、通常ノ範圍ト云フモ間接
ニハサウ云フ場合ガアルデセウ、通常ノ範圍ト云フモ間接
像ハ出来マス、矢張業務ト云フコトヲ入レナイト、
例ヘバ財産ヲ賣ツタリ、チヨイチヨイシタコトガアッテ、土地
ヲ賣ツタコトモアリマセウガ、サウ云フコトニナッテ
モ業務デナイト云フコトニナルト、議論ガ起ルト思イマス
ガ、何カ適當ノ文字ガナイデセウカ

○政府委員(池田寅二郎君) 英文ニナリマス「オーデナ
リ・コース・オフ・ビジネス」ト云フ字ガアリマス、今御話
モアリマシタガ業務ト申シマス、商人ガ破産デアリマス
レバ、ビツリ、當リマスガ、一般ノ破産ニナリマシテ特ニ業
務ト云フコトヲ使ツタナラバ稍狭過ギルヤウナ感じガシ
マス

○藤田四郎君 「オーデナリ・コース・オフ・ビジネス」ト
云フコトモ矢張片方ト同ジヤウニナリマス、民法上ノ關
係デアリマス、片方デハ商賣ノコトヲ云フノデアリマス
カラ差支ナイヤウニ思ヒマスガ、片方ハソレダケデハチヨ
ト想像ガ出来ナイヤウニ思ヒマス

○政府委員(池田寅二郎君) 蓋シサウ云フ所カラ、外ニ例ガ
アルニ拘ラズ通常ノ範圍ト云フコトニナッテハナイカ
ト、之ハ私ノ想像デアリマスガ、業務ト云フコトガ少シ狭ク
ナリ過ギルト云フノデ……

○菅原通敬君 「ビジネス」ト云フコトハ、何カ適當ノ譯語
ガナイノデアリマセウカ

○政府委員(池田寅二郎君) サウデスネ

○菅原通敬君 此管財人ト云フノモ名稱ノ問題デアリ
マス、カ、ハ一方ガ破産管財人ト云フナラバ、茲ニハ和議管
財人ト云フ方ガ宜イテハナイカ、唯管財人ト云フコトニ
ナルト混同サレル虞モアルヤウニ同ジ整理委員ト云
フモノニシテモ、和議整理委員ト云フ方ガ宜イヤウニ思
ヒマスガ……

○政府委員(池田寅二郎君) 和議管財人モ變グト云フ位ノ
話モ確カ出テ居タヤウニ私ハ聞イテ居リマス、ソレカラ今
ノ整理委員ノ方ハ旁々管財人ニナッテ居リマス、是ハ名
稱ガ違ッテ居リマス

○加太邦憲君 此整理委員ト云フノハ誰カラ選ブト云フコ
トハ出テ居リマセウガ、債權者デモ債權者デナイ者デモ誰

カラデモ選ブト云フコトニナリマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 其點ハ別ニ法律ニ決マッテ居
リマセウ、先ヅ相當ノ人ヲ選ブト云フコトニナリマセウ、ナ
ルタケソレノ能ク分ル關係ノアル人ガ自然選バレルコトニ
ナルデアラウト思ヒマス

○藤田四郎君 是ハ拒ムコトガ出来ナイデセウ、理由ナク
……

○政府委員(池田寅二郎君) 任命ノ際ハ強イテ任命スルト
云フコトハ難カシイカ知ラヌト思ヒマス

○藤田四郎君 隨分ニナルノハ迷惑ナ話デ……

○男爵矢吹省三君 二十九條ニ和議開始決定取消ノ場合ガ
茲ニアリマスガ、如何ナル場合ニ取消ノ決定ヲスルカト云
コトガ規定ニ現ハレテ居リマセウ、和議開始ノ申
立ヲ棄却スル場合ハ十八條、十九條ニ規定ガアッテ、申立開
始、決定取消ノ決定ノ場合ニハ、特ニ法律ニ其場合ヲ掲ゲテ
規定シナイト云フコトガ權衡ヲ失フヤウニ思フノデスガ、
此場合ハ何故省イタノデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 之ハ和議ノ開始ノ決定ニ對シ
マシテハ、二十七條ニ規定シテ抗告ガ出来ル事ニナッテ居リ
マス、詰リ開始決定ニ對シテ不服ガアリマシテ、サウシテ之
ニ對シテ抗告ガアル、抗告審デ以テ調ベル譯ニナル、抗告審
デ調ベル時ニ恰モ最初一審デ調ベタ通りニ十八條、十九條
ナリデ全般ヲ見マシテ之ヲ許シテモ宜イカ惡イカト云フコ
トヲ極メテ譯デアリマス、ソレヲ其見方最初ノ見方ト違
ヒマシテ、最初ノ裁判所デハ是ハ和議ヲ開始シテモ宜イ
ト見込ダノ、後ノ裁判所ノ調ベニ依レバ、抗告裁判所ノ調
ベニ依レバ之ハ開始スベキモノデナイト云フコトヲ認メマ
シタ時ニ、詰リ前ノ開始決定ヲ取消シテ、是ハ棄却スベキモ
ノデアルト云フ事ヲ極メテ話デ、恰モ此調ベル標準
ト云フモノハ一審デ調ベマシタト同ジヤウナ調ベラスル
ト云フ譯ニナル

○藤田四郎君 二十九條、三十條トカ、三十何條トカ、大分
一體言ヘバ準用デ書クコトガ載ッテ居リマス、此方ガ能
ク分テ宜イデスガ、皆破産法ノ準用デ行ク條バカリデスナ
○政府委員(池田寅二郎君) 大分準用ノ文字ガ多クアリマ
スノデ……

○藤田四郎君 マダ準用ナスッテモ宜イノガ澤山アルヤウ
デス

○政府委員(池田寅二郎君) 或ハサウカモ知レマセウ、實ハ
餘リ準用スルト御分リ憚イト思ヒマシテ……

○菅原通敬君 少シ細テ甚ダ相濟ミマセウガ、第十二條ノ
第二項ノ相續財産ニ付テハ和議開始ノ申立ヲ爲スコトヲ得
ス、茲ヲ先刻一ト通り御説明ガアッテヤウデアリマシタガ、

相續財産ノ場合ニ於テモ、此和議ヲ許サヌト云フノハドウ
云フ趣意デスカ、モウ少シ精シク説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(池田寅二郎君) 強制和議ノ場合ニハ此相續財
産ニ於テモ出来ルコトニナッテ居リマス、ソレデ特ニ破産豫
防ノ爲ニ許サヌト云フコトデ御質問ガ起ツタコト、思ヒマ
ス、強制和議ノ場合デアリマス、破産ガ茲ニ始マッテ居
リマス、之ヲ或ル讓歩ヲ以テ解決スルト斯ウ云フ現ニ起ッ
テ居ル破産ノ始末ヲ付ケル、斯ウ云フ譯デアリマス、スウ云
フ譯デアリマス、此全ク破産者トシナイデ和議デ以テ圓滿
ニ解決ヲシヤウト云フ場合ハ、ソレヨリモ一層果シテ其提
供者、和議ノ提供者ト云フ者ガ和議ノ趣旨ニ從ッテ満足ニ其
實行ガ出来ルヤ否ヤ、云フ其人ノ信頼スベキヤ否ヤト云フ
コトヲ見ルノガ最モ痛切ニ必要ニナルノデ、相續財産ニナ
リマス、或ハ相續人トカ云フモノニナリマセウ、ソレ等ノ
者ヲ相手ニ今申シマシタヤウナコトヲ極メテ云フコトハ
頗ル適切デアアルマイト云フコトガ主ナル理由ト思ヒマス

○菅原通敬君 サウスルト云フコト、相續財産ノ處分、管理ニ
付テ相續人ナル者ノ信用ヲ疑フカラ、ソレデ其人ニ信用シ
テ讓歩シテソレヲサセヤウト云フコトハ、寧ロサセヌデ破
産サセテ仕舞ツタ方ガ宜イ、斯ウ云フ御考デスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 別ニ信用ヲ疑フト云フ譯デモ
アリマセウガ、相續財産ト相續人トノ關係ニナルト、大分自
ラ茲デ自分ガ債務者トシテ和議ヲ提供スル場合トハ其處ニ
趣ガ變ハテ參リマシテソレニ十分ノ責任ヲ負ハシメテ、サ
ウシテ和議ヲスルト云フコトガ困難デアルマイカ、斯ウ
云フコトデアリマス

○政府委員(三宅正太郎君) チョット今池田部長ノ御説ヲ
敷衍シテ申シマス、此相續財産、普通ノ和議ノ債務者ハ財
産ノ宣告ヲ受ケルト云フコトハ將來事業ヲ繼續スルニ非常
ナル困難ヲ得ルヤウデアアル、又身上ニモ效果ヲ受ケルト云
フヤウナコトガゴザイマス、相續財産ニ付テハ假
ニソレガ破産ニナリマシテモ身上ノ效果ニ於テ不利益ナル
モノヲ受ケル者モナク、又將來事業ヲ繼續スルト云フ必要
モ相續財産ノミニ付テハナイト云フ場合ガ多クアラウト思
ヒマス、ソレデゴザイマス、將來ニ繼續セズシテ其處ヲ片
ツケテ仕舞ツテモ強チ不當デアルマイ、云フ點モ相續財産
デ認メナイト云フコトデアリマス

○菅原通敬君 分リマシタ

○男爵矢吹省三君 先程質問シタ點ニ付テモウ一應伺ヒマ
スガ、此十八條十九條ニ和議開始ノ申立ヲ棄却スル場合ノ
規定ガアリマスガ、棄却スルニ付テハ斯クノ場合ニ限

ル、其他の場合ハ和議開始ノ決定ヲ與ヘルベキモノナリト云フ意味ガ半面ニアルノデアリマスカ詰リ棄却スベキ場合ヲ茲ニ限リテ掲ゲタモノデアリマスカラ、一寸伺ヒマス

○政府委員(池田寅二郎君) 十八條ノ場合ニハ、ドウシテモ許スベカラザル場合ヲ掲グタ譯デアリマス、斯ウ云フ事情ガアルト見レバ、ドウシテモ却下シナケレバナラス、斯ウ云フコトニナル、十九條ノ場合ハ之ハ裁判所ノ裁量ニ任シテ居ルノデアリマスカラ、之有ルニ拘ハラズ和議開始ヲ許シテモ差支ナイノデアリマス、其ノ他ノ場合ニ付マシテハ、是ハ裁判所ガ調ベマシタ結果、其裁量ニ依ッテ決定スルコトニナルダラウト思ヒマス

○男爵矢吹省三君 サウスルト十九條ノ場合ハ裁判所ガ和議開始ノ申立ヲ棄却シ得ル場合ノ例トシテ示シタモノ、此以外ニ尙ホ裁判所ノ裁量ニ依ッテ棄却ガ出來ルト云フ意味ガ這入ッテ居ルノデアリマス

○政府委員(池田寅二郎君) 左様デゴザイマス

○藤田四郎君 サウ云フ御説明ダトモウ十九條デ棄却スルコトノ出來ル場合ヲ書イタシデゴイマスカラ、十八條ノ方ハセヌナラスコト云フ、片方出來ルト云フ場合ヲ拵ヘタノデアリマスカラ、後ニハナイト見テ置カナイト素人目カラ見ヘナイノデスガ、アルカ知レマセヌガ……

○政府委員(池田寅二郎君) ソレハアラウト思ヒマスガ、整理委員ガ茲ニ意見書ヲ出シテ居リマシテ、之ハモウ連モアノ狀態デハ和議ヲシデモ見込ガナイ、云フヤウナコトノ報告ガ假ニアツタトスレバ段々調ベテ見レバ如何ニモサウカモ知レナイ、斯ウ思ヒマシタ場合ニハ矢張却下ラスルト云フコトモ起ッテ來ルト思ヒマス

○藤田四郎君 サウ云フヤウナ風ニ解シテ十九條ノ六トカ七トカ云フモノヲ置イテ廣ク當嵌メ得ルモノニシタ方ガ文體トシテ意思ガ能ク通ズルヤウニ思ヒマス、サウデナイト十八條デ棄却セヌナラスモノト棄却セヌデモ宜イモノト二ツ拵ヘテ見ルト此意外ニマア無イト見ルノガ當リ前デアリマス、若シサウ云フ餘地ヲ取ッテ置クト云フト、六トカ七トカ云フヤウナモノヲ十九條ニ掲ゲテ御置キニナル方ガ宜イト思ヒマスガ……

○政府委員(池田寅二郎君) 趣意ハ全く左様デアリマスガ、此十九條ニ掲ゲテアリマスノハ先ヅ一應斯ウ云フコトガアレバ是ヲ理由ニ棄却シテモ宜シイト云フコトヲ掲ゲタ譯デアリマス

○藤田四郎君 ソレハ例ヘバ十九條ニ六號ト云フモノヲ置キマシテ「其他裁判所ニ於テ棄却スルヲ利益ト……適當ナリト認メタルトキ」トカ何トカ云フ簡條ガ一ツ這入ラストドウモ可笑シイ様ニ思ヒマス

○政府委員(池田寅二郎君) ソレハ此手續ノ原則デ以テ分ルコトト思ッテ居リマス

○藤田四郎君 ドコニ原則ガアリマス

○政府委員(池田寅二郎君) 取調ヲシマシテサウシテ裁判ヲスルト云フノハ勿論法律デ制限シテ居ナイ限りハ棄却モ出來レバ開始モ出來ルト云フコトハ自カラ分ルコトト思ヒマス

○藤田四郎君 ソレナラバ十九條ハナクテモ宜シイノデスナ

○政府委員(池田寅二郎君) 十九條ガアリマスノハ是ダケノ應ガアレバ却下シテモ宜イ、却下ノ一ツノ標準ヲ決メタ譯デアリマス、無クテモ宜シイト云フ所マデハ行カヌカモ知レマセヌガ餘リ強イ規定デ勿論ナイノデアリマス

○藤田四郎君 ソレデハモウ其位デ宜シウゴザイマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 宜シケレバ先ハ參リマス、第三章和議債權及其ノ届出

○政府委員(池田寅二郎君) 第三章ハ愈々和議ガ開始ニナリマシテソレカラ其手續ヲ實行スルコトニナリマス、デ先ヅ債權ノ届出ト云フコトガコトニ規定サレテ居ル、ソレデ先ヅ誰ヲ果シテ債權者トシテ干與セシムルカト云フノガ第一ノ問題デス、四十一條ハ其コトヲ定メテ居リマス、「和議開始前ノ原因ニ基キテ生ジタル財産上ノ請求權ハ之ヲ和議債權トス」ト云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ四十二條ハ四十一條ニ合スル債權者デアッテモ一般ノ先取特權其他一般ノ優先權アル債權ハ和議ニ利害ガ薄イノデアリマスカラ和議債權トセナイ、特ニ取除ケトスルト云フ規定ヲ設ケテ居リマス、恰モ破産法ニ百九十二條ト云フ規定ヲ設ケテ居リマス、ソレカラ四十三條ハ若シ破産デアッタナラバ、別除權者デアルベキモノナラバ、即チ擔保權ヲ持ッテ居ルモノデアレバ、此擔保權ヲ行使シマシテ、尙ホ辨濟ヲ受ケルコト出來ナイト云フ其額ダケヲ和議債權トスル、是モ破産法ノ場合ト趣旨ヲ同ジクシテ居リマス、ソレカラ四十四條モ矢張和議債權トセザルモノノ種類ヲコ、ニ掲ゲテアリマス、破産債權ノ場合ト同ジデス、破産法ノ三十八條デス、是等ノモノハ愈々和議ガ成立チマシテ其權利ヲ執行スル場合ニ當リマシテモ、和議債權ヲ執行シタ後ニ其手續ヲ執行シナケレバナラスト云フコトニナリマス、ソレカラ四十五條ハ破産法ノ規定ヲ準用シテ居リマスガ、是ハ和議債權ノ期限、和議ガ開始ニナレバ期限ニ至リタルモノト看做スト云フコト、ソレカラ和議債權ノ額ヲ決メルニ付テノ中間利息ノ割引或ハ評價ト云フヤウナ規定、ソレカラ此二十二條以下ハ共同債權者ガ破産宣告ノアツタ場合ニ債權者トシテドウ云フ風ニ加入シテ行クカト云フ場合ノ規定、ソレカラ二百二十八條

以下ハ届出ニ關スルコト、及ビ債權表作製ニ關スル規定デアリマシテ、是等ノコトハ和議債權ニモ之ヲ當嵌メルト云フ意味ノ規定デアリマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 御質問ヲ願ヒマス

○菅原通敬君 四十五條ノ後段ノ方デスナ、此場合ニ於テハ「和議ノ開始ハ之ヲ破産ノ宣告ト看做ス」和議ノ開始ノ決定ハ之ヲ破産ノ宣告ト看做スト云フナラバ、分リマスガ、和議ノ開始ト云フコトダケデハ裁判所ノマダ宣言ガ行ハレテ居ラスヤウニ思ヒマスガ、是ハ「決定」ト云フ文字ガアル方ガ宜イデアリマセヌカ、サウ云フ場合ニ於テ「和議開始ノ決定」云スト云フヤウニ……

○藤田四郎君 サウ云フナラバ序ニ第六條トノ關係ヲ一絡ニ願ヒマス、和議ノ開始ハ破産トナッテ居ル、是ハ和議ガ開始サレテ居ラナケレバ起ラナイ場合デス、六條ノ末文ニハデス、和議ノ開始ト云フコトハ破産ノ宣告ト云フコトニ決マデ居ルノデアリマス、此四十五條ノ事柄ハ和議ノ開始シテカラ後ノ問題ト思ヒマスカラ、此條ハ要ラスヤウナ感ガ致シマス

○政府委員(池田寅二郎君) 和議ノ開始ト申シマスノハ詰リ和議ノ開始決定ニ依ッテ和議ヲ開始サレル譯ニナリマス、意味ハ和議開始決定ガ效力ヲ生ジタルトキト云フ事ニナルダラウト思ヒマス、ソレカラ六條ノ關係ハ此破産法ノ……和議法ノ四條、五條關係ノ取戻權ナリ、相殺權ナリヲ適用シマスルニ付テ、此破産ノ申立ヲ破産ノ宣告ト看做スト云フコトヲ書イテ居ルノデアリマス、ソレカラ今ノ四十五條ノ方ハ先ホド申シマシタヤウナ破産ノ宣告ニ依ッテ期限ニ至リタルモノトスルトカ、或ハ破産宣告ト云フモノヲ基準ニシマシテ、中間利息ノ割引ヲスルトカ云フヤウナコトヲ適用シマスルニ付テモ、和議ト云フコトトソコニ違ガアリマスルカラ矢張適用ノ規程ヲ明カニスル爲ニ和議ノ開始ハ破産ノ宣告ト看做スト云フコトニ、マア、ヤッタヤウナ次第デアリマス、……

○菅原通敬君 勿論和議ノ開始ハ決定ニ依ッテ效力ヲ生ズルモノデアリマスカラ和議ノ開始ト云フコトハ、和議ノ開始ノ決定ト云フコト、同ジ事柄ニ當ルニ違ヒナイデアリマセウガ、併ナガラ破産ノ宣告ト看做スト云フコトニナルト矢張裁判所ガ宣告シタルモノト同一ニ見ルト、斯ウ云フコトニナルノデアリマスカラ和議ノ開始ト單ニ言ヘバ、事實ヲ言フノデアッテ、裁判所ノ決定トカ宣告トカ云フヤウナモノトハ違ハナケレバナラスノデ、裁判所ノ意思表示ガ何所ニ現ハレカ、ソレガ明確デナイト云フコトニナリマス、殊ニ第二條ニハ「和議手續ハ其開始決定ノ時ヨリ效力ヲ生ス」ト書イテアツテ、若シ御話ノ通りデアレバ、其開始ノ時ヨリ

デモ宜イ譯デアル、マア言葉ダケノ關係デアリマスケレドモ、第六條ノ場合モ矢張和議ノ開始決定ハ之ヲ破産ノ宣告ト看做スト矢張書イタガ宜イト思ヒマス

○政府委員(池田寅二郎君) 唯今御引キニナリマシタ第二條ト云フノガ今後和議開始、和議開始ト云フ事ノ出テ來ル基ニナッテ居リマス、ソレカラ意思表示ト云フコトニナリマスレバ、破産宣告ノ方デモ決定デアルコトニナッテ居リマス

○菅原通敬君 ソレハ宣告スルノデスナ、宣告ト云フ一ノ形式的ノ意思表示ノ形式ガナケレバナラヌ

○政府委員(池田寅二郎君) 決定ヲセネバナラヌコトハ破産ノ宣告ニ付マシテモ、和議開始ニ付マシテモ、ハ同様デアラウカト思ヒマス

○政府委員(三宅正太郎君) 私カラ茲ニチョット申上ゲマスガ、此四十五條ノ「和議ノ開始ハ之ヲ破産ノ宣告ト看做ス」ト云フノハ、是ハ御承知デモゴザイマセウガ、前ノ四十五條ノ前段ニ準用スルニ付テ、和議ノ開始ハ之ヲ破産ノ宣告ト看做ス「ト云フ譯ニナリマス」ノデ、其準用イタシマス趣旨ハ、此前ニアリマスル條文ハ皆時ヲ押ヘテ居リマス、破産宣告ノ時ト云フコトガアリマス、サウシマス破産宣告ノ時期ト云フコトハ寧ロ和議ノ方ヘ持つテ行キマス、和議開始ノ時期ト云ヒマスヨリ、和議開始ト云フコトデ以テ十分ニソレガ盡サレルト云フ意味カラ、コチラデモ和議開始ト申シタノデハナカラウカト存ジマス

〔河村護三郎君〕質問ハ是デ打切リヲ願ヒマス」ト述フ

○委員長(伯耆松平頼壽君) 質問ハ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 第四章ハ債權者集會ノ規定デアリマス、前章デ以テ決マリマシタ此債權者ト云フ者ガ詰リ和議債權トシテ茲ニ集會スルコト云フコトニナリマス、其集會ノ期日ハ和議ノ開始決定ガ之ヲ決メテ居リマス、其日取ニハ其和議ニ關係有スル所ノ者、債權者或ハ申立人、ソレカラ和議スルニ付テ保證人トナッテ、或ハ擔保ヲ供スルト云フヤウナ者ヲ呼出シテ、サウシテ評議スルコトニナリマス

○菅原通敬君 此債權者集會ニ於テ和議ヲ否決シタルコトアルトキト云フガ先キ第十九條ノ第二項ニアリマシタガ、和議ノ否決ヲシタル時分ニ尙ホ裁判所ガ強制シテヤセルコトガ出來ルト云フヤウナ規定ハ破産法ノ引用シタ箇條ノ中ニ準用ニデモナッテ居ルデセウガ、ソレハ第何條ニ準用サレテ居リマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 和議ヲ否決イタシマシタ時ニ

權ヲ行使セシメテモ宜イカト云フコトノ取調ヲ致スコトニナリマス、ソレガ四十七條ノ規定デアリマス、ソレカラ四十八條ハ其集會ニ於テ管財人ナリ整理委員ガ一體和議ノ開始ニ至ルマデノ事情ト債務者ノ財産狀態等ニ付マシテ調査シタ結果ヲ報告イタシマス、又届出債權ノ内ニダケハ議決權ヲ行使セシメテモ宜シイ、是ダケハ是ダケノ額ヲ行使ラセシメテモ宜シイト思フコト云フコトノ調査ノ結果ヲ茲ニ報告セシメルノデアリマス、且ツ申立人ノ出シテ居ル所ノ和議ノ條件ニ付テ是ハ適當デアアル、是ハ適當デナイト云フコトニ付テノ意見ヲ述ベテ集會ノ參考ニ供スルコト云フコトニナルノデアリマス、ソレガ四十八條ノ一項ソレカラ議決權ノ數ヲ如何ニ決メルカト云フコトハ破産法ノ百八十二條ノ二項乃至四項ノ規定デアルト云フコトニナリマシテ、即チ管財人ナリ、整理委員ガ異議ガアリマスレバ、裁判所ガ裁量ヲシマシテ、サウシテ議決權ヲ行使スベキヤ否ヤ及ビ行使セシメル所ノ債權ノ額如何ト云フコトヲソレデ決メル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、ソレデ以テ議決權ノ行使スベキモノ及ビ其數債權額ト云フモノガ決マリマシテ、ソレデ決議スルコト云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ四十九條ハ債權者集會ニ關スル規定デアリマシテ、破産法ノ百七十八條ハ裁判所ニ招集スルコト云フ意味ニナッテ居リマス、百八十一條ハ議決權ノ行使ハ代理デ以テヤッテモ宜シイト云フ意味ノ規定ニナッテ居リマス、ソレカラ和議提供者ノ出頭ヲ要求スル所ノ規定、或ハ和議ノ申立人ガ條件ヲ變更スル場合ニハドウ云フ風ニスルカト云フ規定、三百六條ハ決議スルニハドウ云フ規定、是等數ガ無ケレバナラヌト云フコトノ規定、三百七條ハ決議……定足數ニハ滿タヌケレドモガ或少数ノ人ノ同意ガアルカラ一應更ニ延シテ、更ニ會議ヲ開クト云フコトノ規定、是等ノモノハ此債權者集會ニモ適用シテ然ルベキデアアルカラ、之ヲ準用シタイト云フノデアリマス、ソレカラ末項四十九條ノ二項ハ、矢張條件ハ平等デナケレバナラヌト云フノガ三百四條ノ規定、ソレカラ或債權者ニ特別ノ利益ヲ供スルコト云フ約束ハ無効デアルト云フノハ是ガ三百五條ノ規定、是モ和議ノ場合モ同様デアリマスルカラ、之ヲ準用スルコト云フコトニシタノデアリマス

裁判所デ以テ和議ヲ促進スル途ハ確カ無カッタカト思ヒマスガ、唯決議スルニハ至ラナカッタケレドモガ、相當ノ人數並ニ金額ノ人ガモウ一遍會議ヲ開ク爲ニ會議ヲ續行シヤウト云フ申出デアリマスレバ、或ハ裁判所ガ續行ヲ許スト云フ規定ガ破産法ノ三百七條ニアリマス、ソレヲ四十九條デ準用サレテ居リマス

○菅原通敬君 サウスルト、債權者集會ニ於テ否決シタ場合ハドウナルノデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 債權者集會デ否決イタシマシタナラバ、和議ハ成立タヌコトニナラウト思ヒマス

○菅原通敬君 ソレ等ノ規定ハ更ニ見當ラヌデスガ、ドウナレバソレガ……

○河村護三郎君 只今、五章ニ入ッテ居リマスカ

○委員長(伯耆松平頼壽君) 五章ニハマダ入りマセヌ、四章

○河村護三郎君 只今ノ御説明ハ四章デハアリマセヌカ、政府委員ニ御尋致シマスガ……

○政府委員(池田寅二郎君) チョット私モ申上ゲヤウト思ッテ居リマシタデスガ、和議ヲ可決イタシマシテ、初メ裁判所ガソレヲ認可スルヤ否ヤト云フ問題ガ起ルノデ、可決シテモマダ之ヲ認可セヌ時ニ起リマス、債務者ガ之ヲ提供シ、債權者ガ多數デ以テソレヲ入レタト云フコトデ和議ノ本體ガ出來ルノデアリマス、其本體ガ出來ナクテハ和議ニナラナイコトハ、是ハ當然ノコトデアラウト思ヒマス、本體ガ出來マシテモ裁判所ノ認可ニ依ッテ是モ効力ガアルノデ、其認可スルヤ否ヤト云フコトヲ第五章ニ和議ヲ可決シタルトキ云々トナッテ居リマス

○藤田四郎君 モウ一ツ五章ヲヤッテ……

○委員長(伯耆松平頼壽君) ソレデハ第五章、和議ノ否認○政府委員(池田寅二郎君) 集會デ以テ和議ヲ可決イタシマシタ時ハ裁判所ガ和議ヲ認可スルカ、或ハ之ヲ不認可スルカト云フコトニ付テ決定ヲサネバナラヌト云フコトガ五十條ノ規定デアリマス、ソレデ此認可ニ付マシテ管財人ナリ、或ハ整理委員ナリ、或ハ此四十六條ノ一項ニ掲ゲデアリマス者等ハ意見ヲ述ブルコトガ出來ルト云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ此破産法ノ二百三十八條ノ但書ノ準用ハ、是ハ會議期日ニ言渡ラスレバ、別ニ送達等ハ要ラナイ、公告等ハ要ラナイト云フ規定ニ過ギナイノデアリマス、ソレカラ第五十一條ハ和議ノ不認可ノ決定ヲナスコトヲ得ル場合ヲ規定シタルノデアリマス、ソレデ即チ法律ニ反スル和議ノ手續、之ヲ保證スル途ガナイト云フモノニ付テハ、是ハ不認可ノ決定ヲナスコトガ出來ルト思ヒマス、ソレカラ十八條ノ二號、三號、二號ハ申立人ノ所在不明三號ハ

詐欺破産の行為ガアル、斯ウ云フ場合ガ矢張不認可ノ決定ヲヤル、ソレカラ三ハ不正ノ方法デ以テ和議ガ成立ニ至リマシテモ、或ハ詐欺デアアル、或ハ脅喝ガ行ハレタト云フ場合ニハ、認可スルコトガ出来マセヌ、第四項ハ和議ノ決議ガ一般債権者ノ全體ノ利益カラ考慮シテ見テ、利益ニ反スル行為ヲ認メマシタ時ハ不認可ガ出来ル、是ハ一旦債権者並ニ債務者トノ間ニ和議ノ協定ト云フモノガ出来テ居リマス、之ヲ不認可スルコトニ付テハ、ヨクノ理由ガナケレバナラヌト云フコトデ、茲ニ掲ゲタ場合ニ限リテ不認可ノ決定ガ出来ルコトトシタノデアリマス、ソレカラ五十二條ハ其認可、不認可ノ決定ノ手續デアリマス、ソレカラ五十三條ハ此認可、不認可ノ決定ニ對シテ不服ヲ訴スノデアリマス、之ヲ特ニ許シタノガーツノ、文例ニナッテ居リマス、ソレカラ第二項ハ破産法三百十九條ト申シマスレバ、此決議權ヲ有シナカッタ債権者ガ公告ヲスルニハ、自分ガ債権者ナリト云フコトヲ證明スル必要ガアル、斯ウ云フ意味ノ規定デアリマス、ソレカラ五十四條ハ和議ノ認可ノ決定ニ效力ヲ生ズルコトヲ規定シタモノデアリマス、是ハ即時公告ノ服間ヲ經過シテ、或ハ即時公告シタル時ニドウ云フ效力ヲ生ズルカ、ソレカラ和議認可ガ茲ニ愈々決定シマスレバ、債權表ニ和議ノ條件ト云フモノヲ書込ムト云フコトニナリマス、是デ以テ此書込シタ條件ニ從テ和議ヲ實行スル譯ニナルノデアリマス、ソレカラ和議ノ認可ガ決マリマス、モウコトデ以テ和議手續ト云フコトハ、即チ終ル譯デアリマス、ソレ債権者ハ此和議ノ爲ニ生ジタル債權、是ハ手續ノ方ノ債權、ソレカラ一般ニ先立チマス特權、優先權ノ債權ヲ仕拂ヒ、ソレニ付テ異議ガアル、者ニ付テハ供託シテ、ソレデ以テ先ヅ打切りタルト云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ五十七條ハ此強制和議ノ效力ニ關スル破産法ノ規定並ニ破産ノ申立ヲ制限スル、即チ強制和議ノ效力ヲ受ケタ債権者ハ申立ガ出来ルト云フ規定、是等ハ和議ノ效力ニ付テ同様デアリマス、ソレヲ準用スル意味デアリマス、ソレカラ和議ガ愈々確定イタシマシタラ、十七條デ以テ中止シテ居リマシタ所ノ破産ノ申立ノ效力ヲ失ヒ、破産ハモウ要ラナイコトニナッタカラ申立ハシナイ、四十條ニ項ノ規定デ從前カラノ強制執行ハ同様デアリマス、是ハ強制執行ノ要ガナクナッタト云フコトデアリマス其效力ヲ失フコトヲ定メタ次第デアリマス

○河村讓三郎君 モウ三ヶ條御説明ヲ願ヒマシテ、和議ノ廢止

○委員長(伯耆松平賴壽君) ソレデハ引續イデ和議ノ廢止

○政府委員(池田寅二郎君) 六章ハ和議ニ關スル規定デア

リマス、是ハ第一ニハ和議ノ可決イタシマシタル前ニ、即チ集會デ以テ可決スル前ニ當テ和議ノ提供者ガ其提供ヲ撤回シタ時、ソレカラ第二ハ和議ガ何時マデモ決マラナイ、土臺債権者集會デ以テ何時マデモ決マラナイト云フ場合ニハ、モウ一旦和議開始ノ決定ハシタケレドモ、是ハ止メテ仕舞フノガ即チ和議廢止ノ決定デアリマス、ソレカラ第六十條ハ此和議廢止ノ決定ヲナシテモ宜イト云フコトノ意味ノ規定デアリマス、前條ハ斯ウ云フ和議ハ廢止ヲシナケレバナラヌト云フ規定デアリマス、ソレデ其第一ハ此第二十條一項ニ項、ト云フモノハ、保全處分デアリマス、債務者ノ財産ヲ保全シタモノデアリマス、此處分ノ命令ニ債務者ガ違反シタト云フ場合、ソレカラ第二號ハ、三十一條、三十二條ト云フモノハ和議申立人ノ行為ヲ制限シタル所ノ、通常ノ範圍ニ於ケル行為ハ出来ルガ、然ラザルモノハ出来ナイ、場合ニ依ッテハ管財人ノ同意ヲ得ネバナラヌト云フコトガアリマス、レソニ違反シテ勝手ニ行為ヲシタト云フヤウナ場合、ソレカラ第三號モ同様デアリマシテ、三十條ハ管財人ガ金錢ノ收支ヲ自カラヤルト云フコトノ請求ガアツタニモ拘ラズ債務者ガ自カラ金錢ノ收支ヲシタ斯ウ云フヤウナ場合ニ於ケルキマシテハ、是ハ和議ヲ進メテ見テモ完全ニ行カスカモ知レナイト云フコトデアリマス、和議廢止ノ決定ヲナスト云フ途ヲ開イテ置ク、但シ此場合ニハ債務者ノ側ノ義務違反ト云フコトニナリマス、債権者ニ其和議ヲ十分ニ聞知シタ上處分スルト云フコトニナッタ、ソレカラ六十一條ハ和議ノ廢止ヲ致シマシタ時ニハ之ヲ公告スルト云フ意味ノ規定デアリマス

○河村讓三郎君 チョット御伺ヒシマスガ、和議ノ不認可ト云フコトハ和議ノ廢止ト云フコトト、ドウ云フ違ガアリマス

○政府委員(池田寅二郎君) 和議ノ不認可ハ和議ノ申立人ト、和議債権者トノ間ニハ協定ガ出来マシテ、詰リ和議ノ提供ヲ債権者デ多數デ以テ容レタト云フ時ニ、ソレニモ拘ラズ裁判所ノ方デ或ル理由ガアレバソレヲ認可シナイト云フノガ和議ノ不認可デアリマス、和議ノ廢止ト云フノハ未ダ此和議ノ集會ノ協定ノ出来マシタル前ニ、トモ協定ガ出来ル見込ガナイト云フヤウナ場合トカ、ソレカラ後ニナリマシテモ債務者ガ和議ヲ實行スル所ノ誠意ガナイト認メラレルト云フヤウナ場合ニ、和議ヲ廢スルト云フコトニナッテ居ルヤウデアリマス

○河村讓三郎君 五十九條ノ第二號ハ是ハ可否ヲ言ハナイト云フ場合デスカ、或ハ否ト言ハナイ場合デスカ、否ト言ハタ時モ此中ニ遺入ルノデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 是ハイツマデモ其議ガ極マラナ

イト云フコトヲ見テ居ルノデアリマシテ、否決イタシマシタ場合ハ是ハ當然ノコトデアアルカト思ヒマス

○河村讓三郎君 當然ト云フノハ當然廢止ヲスルト云フノデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 詰リ和議ガ成立タナイト云フコトニ歸着スルカラ廢止スル外ハアルマイト思ヒマス

○河村讓三郎君 ソレハ何處カニ明文ガアルノデスカ、或ハ明文ヲ置ク必要ハナイト認メラレタノデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 其場合ニハ事件トシテハ當然終了シテ仕舞フト云フコトニ相成ララウト思ヒマス

○河村讓三郎君 サウシマス決定ハシナイノデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 決定スルコトヲ要セナイト解釋シテ居リマス

○河村讓三郎君 ソレデ宜シウゴザイマスガ、尙ホ御調べノ上デ、若シ御意見デナイ御意見ガアリマシタラ其中ニ御述べテ願ヒタイ

○政府委員(池田寅二郎君) 畏マリマシタ、十分ニ取調ヲ致シマシテ、若シ違ッテ居ルヤウデアリマスレバソレハ訂正ヲ致スコトニ致シマス

○菅原通敬君 和議ノ提供ニ關スル規定ハ何處ニアリマス

○政府委員(池田寅二郎君) 三百一條此四十九條デ準用シテ居ルノデスカ、三百一條ヲ讀ミマス「強制和議ノ提供者ハ期日ニ出頭シテ強制和議ノ申立ヲ爲スコトヲ要ス」愈々此所デ集會ヲ開カレマス、申立人ガ出頭シテ自分ノ持出シタ條件ト云フモノヲ其處ニ申立テルト云フ手續ニナリマス

○菅原通敬君 和議ノ提供ト云フヤウナ事柄ハ和議法ノ中ニアッテモ主ナル注目スベキ條項デアラウト思ヒマス、ソレガ準用セラレタト云フ爲ニ隱レテ仕舞ッテ、中ノソレガチョット本文ニ於テハ見出セナイト云フヤウナ遺リ方ハ餘リ不適當ノヤウニ思フノデスカ、サウキ藤田君カラ言ハレタヤウニ準用シテモ宜カリサウダト思フヤウナモノガ特ニ書カレテ居ルヤウナ場合モアル、寧ロ斯ウ云フヤウナヤツハ準用ドコロデハナイ、中ノ規定モ重大ナル關係ヲ持テ居リマス、表ニ顔ヲ出シテ置ク方ガ宜イヤウニ思ヒマスガ……

○政府委員(池田寅二郎君) 強制和議ニ關スル規定ヲ大體準用セラレマシテ其性質モ略々似通ッテ居リマス、殊ニ是ハ破産法トノ一ツノ姉妹編デアッテ、成ルベク破産法ノ規定デ準用ノ出来ルト云フモノハ抜イテ居ルト云フヤウナコトモアリマス、大分特ニ條文ヲ書カナイデ破産ノ條文ヲ假リテ來テアル場合ト云フモノガ幾ラモアル、重要ナル點ニ於テモ……相續ナドニ付マシテモ大概サウ云フ風ニナッテ居リマスヤウナ次第ゴザイマス、大體立法ノ事ハサウ云フヤ

ウニスルノガ適當デアルト思ヒマス

○菅原通敬君 ソレニ伺ヒマスガ和議開始ノ申立ヲ撤回シタ時ニドウナリマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 和議開始ノ申立ハ開始決定ガアリマスガ撤回ト申シマスガ、取下ゲハ出來ルコト、思ヒマス、サウナリマスレバ事件ハ矢張ソレで終了ト云フコトニ相成ルダラウト思ヒマス

○菅原通敬君 第五十九條第一項ノ約合上カラ伺フノデアリマスガ、和議ノ可決前ニ和議開始ノ申立ヲ撤回シタ、其時分ニハ和議停止ト云フコトニハナラヌノデセウネ

○政府委員(三宅正太郎君) チョット或ハ餘計ナコトヲ申上ダルカモ知レマセヌガ、此和議法ノ十三條ハ丁度此破産法ノ和議破産法ニ於キマス云フト、此和議ノ丁度第二百九十四條ト云フモノト先ツ釣合テ居ル規定デゴザイマス

ケレドモ、是ハ今朝私ガ矢吹男爵ニ御答シタコト、關係モアリマスガ、此和議開始ノ申立ハ一面ニ於テハ和議開始決定ヲ言渡シテ貰ヒタイト云フコトノ申立ノ半面ニハ更ニ自分ノ方デ斯ウ云フ條件ニ於テハ和議ヲ致サウト云フ和議ノ提供ト云フモノヲ此中ニ含シテ居ル譯デスカラ一ツノ申立ト申シマスデモ一面ニ於テハ和議決定ノ申立ヲ求メ一面ニ於テハ和議ノ申立ノ意思ヲ表示スルコト云フ二面ニ働クモノデハナカラウカト考ヘマスノデアリマス、サウシテ裁判所デハ其和議開始ノ申立ヲ裁判スルコト云フハ和議開始ノ決定デアリマス、和議開始ノ決定ガアリマスガ、和議開始ノ申立ヲ取下ゲマスレバソレハモウ和議開始ヲ爲スベキ根據ガゴザイマセヌカラ事件ハソレデ済ミマスソレカラ

和議開始ノ申立ニ依ッテ和議開始ノ決定ヲミマスレバ今度ハ和議開始ノ申立ハ目的ヲ達シマシテ、ソレデ其分ハ終リマシテアトハ和議ノ提供ト云フモノガ殘ル譯ダラウト思ヒマス、其關係ガ此處ヲガチョット外ノコトデゴザイマスガ和議法ノ第十九條ノ三號和議開始ノ申立又ハ和議ノ提供ヲ撤回シタル時トゴザイマスノハ詰リ其處ノ意味デアリマス、此和議開始ノ申立ハ採用サレテ和議開始ガ出來テ殘ッテ居リマスノハ和議開始ノ申立デナクシテ提供デアリマスカラ此提供ヲ撤回スルコト云フコトガアリマス、同ジ事デアリマケケレドモ同ジ線ヲ行クノデスケレドモ和議開始ガゴザイマス前ト和議開始ガゴザイマシタ後トハ同ジ申立デアリマシテモ同ジ撤回デモ一方ハ和議開始ノ申立ノ撤回ニシテ其後ニ於テハ和議開始ノ申立ノ撤回デナクシテ單ニ和議ヲ殘リマスカラ和議提供ヲ撤回トナル譯デアリマス、從ッテ先程御尋ニナリマシタ此五十九條ノ點モサウデアリマス、五十九條ノ第一號ノ場合ニナリマス既ニ和議開始ノ決定ハゴザ

イマセヌカラシテ和議開始ノ撤回ヲシヤウモセヌモ出來ナクナル、既ニ採用サレテ済ンデ終ッテ居リマスカラ、ソコデ此場合ニハ既ニ和議開始ノ目的ハ達シテ單ニ殘ッテ居リマスノハ和議ノ提供ガ殘ッテ居ルノデアリマシテ和議ノ提供ヲ撤回スルヨリ外ニナイ、デアリマスカラシテ別ニ和議ノ提供ト云フモノハ特ニ何處ニ書イテアルト云フコトハゴザイマセヌケレドモ十三條カラ一貫シテ御覽下サイマス、詰リ和議ノ申立カラ始めテ漸次ニ進行シテ行クト云フ風ニ御覽ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○菅原通敬君 此和議ノ可決前ト云フコトハ債權者集會ニ於テ可決スル前ト云フ意味デセウカ

○政府委員(池田寅二郎君) 左様デゴザイマス

○菅原通敬君 サウスルト裁判所ニ於テ和議ノ申立ヲ取立テタ、ソレカラ更ニ其債權者集會ニ掛ケテ其中間ノ機關ガアル、其間ニ此和議開始ノ申立ヲ撤回シタ者ガアッタナラバソレニ對スル處置ヲナサルコトガ必要デアラウ、第十九條ニ於キマシテハ和議開始ノ申立ヲ撤回シタト云フ經歷ヲ持ッテ居ル者デサヘモ裁判所ハ和議開始ノ申立ヲ棄却スル、斯ウナッテ居ルノデアアルカラ和議ノ提供ヲ撤回スルマデモナク和議開始ノ申立ヲ撤回シタ場合ニ於テモ裁判所ハ職權ヲ以テソレヲ和議ヲ棄却スルナリ或ハ廢止ヲスルト云フコトガ當然デアラウ、斯ウ思フノデアリマスガ

○政府委員(池田寅二郎君) ソレハ今外ノ政府委員カラモ御答辯イタシマシタ所デモアリマスガ、モウ此五十九條マデ參リマスと云フト和議ノ申立ト云フモノハ容レラレマシテ和議開始決定ト云フモノガ茲ニ出來テ居ル和議開始決定ガアレバ申立ハ其目的ヲ達シタモノデ、目的ヲ達シタ後デアルカラ問題ハ起ラナイ、斯ウ云フ譯デアリマス、殘ル所ノモノハ自分方申立タ所ノ和議ノ條件ト云フモノヲ以テ茲ニ相手方ノ承諾ヲ求メテ居ルト云フ状態ハ茲ニ殘ッテ居ルト云フ譯デアリマス

○菅原通敬君 第十九條ノ第三號ノ和議ノ開始ノ申立ノ撤回ト云フコトハ和議開始ノ決定前ト看ナケレバナラヌデセウネ

○政府委員(池田寅二郎君) 左様デアリマス

○菅原通敬君 和議ノ提供ハ決定後ニ掛カリマスカ必ズ……

○政府委員(池田寅二郎君) 詰リ此申立ノ中ニハソレダケ含マレテ居リマスカラソレデ此申立時代ニ申立ヲ撤回スレバ其含シタモノ全部ヲ引上ゲテ仕舞フコト云フコトニナリマス、ソレカラ申立ハ既ニ目的ヲ達シタウシテ茲ニ提供ト云フ時代ニ入ッテ來テ居ル、入ッテ來レバ一旦アノ條件ヲ極メテ置キマシタケレドモ(聽取り難シ)ソレデハ困ルト云フ條

件デ撤回スルト云フヤウナコトニナラウト思ヒマス

○菅原通敬君 能ク分リマシテ

○男爵矢吹省三君 チョットマダ、私其點ハ分ラナイノデアリマスガ五十九條ノ和議ノ可決前ニト云フコトハ先程カラ御説明デハ此場合ハ和議開始ノ決定ノアツタ場合ダト云フ御話デアリマシタガ、此和議ノ可決前ト云フコトヲ脇カラ見マス債權者集會モマダ開カレナイ前ト云フ譯ナノデスカラ和議ノ開始ノ決定ガアツタ場合トハ想像ガ出來ナイノデスケレドモ私ノ思違ト思フノデサガモウ一遍御説明ヲ願ヒタイノデス

○政府委員(池田寅二郎君) 詰リ先程菅原委員ニ御答ヘ致シマシタ點ト或ハ同一ニ歸着スルカモ知レマセヌ、詰リ茲ニ提供ヲ撤回シタル時ト云フコトニナッテ居リマス、ソレハ申立取下ト云フコトモ爲シ得ル時代デアリマスレバ、ソレハ即チ申立ノ取下ノ提供ヲ事實ニ於テ含シタモノヲ取下ゲルト云フコトニナレバ、茲デ提供ノ撤回ト云フコトニナッテ居リマスモノハ、取りモ直サズ申立ト云フモノヲ受理シナイ、而シテ會議ニ掛カルベキ状態ニ入ッタ、或掛ケテアル、而シテマダ可決前ニ之ヲ撤回シタ斯ウ云フコトニ解釋ヲスベキデアルト思ヒマス、其意味デアリマス

○政府委員(三宅正太郎君) チョットアレハ矢吹男爵ノ字句ノ解釋ニ付テ誤解ガアルノデハナイカト思ヒマスガ、和議ノ可決前ト云フノハ必シモ和議ノ可決前ト云フ意味デハアリマセヌデ、和議ノ開始ノ決定ガアリマシテ、ソレカラ又和議ノ集會ガアリマス間ニ於テ此提供ヲ撤回シテモ矢張和議ノ撤回ガ出來ル譯デス、デスカラ可決ト申シマスノハ可決ガアレバ提供ハ撤回ハ出來マセヌガ、其以前ナラバ提供ノ撤回ハ何時デモ出來マスノデ、サウナレバ和議ノ決定ノ開始ハ出來ルノデアアル、和議ノ廢止ト云フモノハ和議ノ手續ガ撤回サレナケレバ和議ノ廢止ガ出來マセヌカラ、和議ノ開始決定前ニハ和議ノ撤回ト云フコトハ起ルマイ、斯ウ云フコトニナリマス

○男爵矢吹省三君 分リマシタ

○河村謙三郎君 チョット氣付キマシタカラ申シマスガ、五十九條ノ第一號ニ提供者ト云フノハ誤デアラウト思ヒマスガ、政府デモ手續上マダ議會ニハ御出シ置キニナッテ居ラスノデアリマセヌカ、如何デアリマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 外ニモチョット二三發見シテ居ルノデアリマス、早速手續ニ致スコトニ致シマス

○藤田四郎君 外ハ何處デアリマスカ、外ハ何條デアリマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 破産法ノ三百七十五條……

○藤田四郎君 破産ノ方ハ皆來テ居リマスカラ宜シイ

○政府委員(池田寅二郎君) 破産法ノ三百七十五條……

○政府委員(池田寅二郎君) 來テ居リマスノナラ三百七十五條ヲ御覽下サイ、第二號ニ財務トゴザイマスガ財務デハナシニ債務デアリマス、不利益ナル條件ニテ財務トアリマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 和議法ノ訂正ヲ……

○政府委員(池田寅二郎君) 五十九條ノ第一號ニ和議ノ可決前ニ和議ノ提供者ヲアリマスカ、和議ノ提供者カデアリマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 其他ニハゴザイマセスカ、

○政府委員(池田寅二郎君) マダ外ニ發見シテ居リマセ

○委員長(伯爵松平賴壽君) ソレナレバ先ヲ願ヒマス、第七

○政府委員(池田寅二郎君) 是ハ強制和議ノ讓歩ノ取消、

強制和議ノ取消ト云フモノニ匹敵スル規定デアリマス、破

産法ノ三百二十九條乃至三百三十一條ト申シマス、ノハ、

不正ノ行為ニ依ッテ強制和議ガ出來タル場合、或ハ債務者ガ

強制和議ノ履行ヲ怠クタル場合、ソレカラ強制和議ノ讓歩ヲ取

消シタル場合ニ如何ナル效力ヲ生ズルカト云フコトノ規定ガ

三百三十一條乃至三百三十三條デアリマス、ガ、是ハ和議ノ

場合ニモ矢張同様ニスルコト云フコトデアリマス、カ、不正

ノ行為デアッタナラバ取消スコトガ出來ルシ、讓歩ヲ取消ス

コトガ出來ルシ履行ヲ怠クタル場合ニモ債權者ハ讓歩ノ取消

ガ出來ル、讓歩ヲ取消ハ和議ニ依ッテ得タル權利ニ影響ヲ及ボ

サスト云フヤウナ結果ニナル譯デアリマス、ソレカラ六十

三條ハ破産法ノ三百三十三條ニ相當スル規定デアリマス、

テ、詐欺破産ノ罪ニ該タルベキ行為デアル、斯ウ云フ場合ニ

ハ和議ノ取消ガ出來ル、破産法ハ既ニ破産ガアリマス、

カラ、詐欺破産ト云フモ、刑事裁判ガアル譯デアリマス、

議ノ場合ニ於キマシテハマタ破産ト云フモノガアリマセス、

カラ、詐欺破産ト云フモノガ茲ニ決定スルコト云フコトハア

リマセスカ、如何ニモ行為自體ハ隨分不都合ナ行為ガ爰ニ

アル、ト云フコトヲ認メマシタル場合ニハ和議ノ取消ヲスル

コトニナルノデアリマス、精神ハ三百三十三條ト全ク同一

デアリマス、ソレカラ六十四條ハ和議ノ不履行ガ先ヅ多數

ニ亙ッテ、多數ノ債權者ガ和議ヲ取消スルコト云フコトノ同意ヲ

シタル場合ニハ和議ノ取消ヲスルコトガ出來ルコト云フコトガ

三百三十二條デアリマス、是ハ矢張標準用セラレタ譯デアリ

マス、和議ノ取消ニ必要ナル債權額並ニ總債權ノ計算ト云

フモノハ、是ハ和議ノ決議ヲ致シマスニ付テ決定メデアリマ

ス、同一ノ法則デアリマス、即チ本法ノ四十一條ノ規定ニ依

ル譯デアリマス、ソレカラ六十五條ハ破産法ノ三百三十四

條ニ該當スル譯デアリマシテ「和議ノ取消ハ和議債權者カ

和議ニ因リテ得タル權利ニ影響ヲ及ボサス」商法ノ取消ト

相對應スル規定デアリマス、ソレカラ六十六條ハ和議取消

申立棄却又ハ和議取消ノ決定ヲ致シマシタル時ニハ、之ヲ公

告スルコト云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ六十七條強制

和議ガ取消サレマシタル場合ニハ、前ノ破産ガ再ビ行ハレル

コトニナルノデアリマス、其場合ニ行フ所ノ破産ニ付テ如

何ナル債權額ヲ實行スルカト云フ規定、ソレガ三百三十三

條、ソレカラ配當ノ平均ヲ得セシムル爲ニ如何ナル方法デ

配當ヲ得セシムルカト云フノガ三百四十條ノ規定、ソレカ

ラ強制和議ガ取消サレバ、強制和議ガ一旦無クナッタノデ

アリマス、取消マデノ債權者ニ對シテ擔保ヲ供與シタルコ

トハ、更ニ破産事項ニナレバ效力ヲ失フ、是ハ三百四十

一條ノ規定デアリマス、是ハ和議ノ場合ニ於キマシテ和議

ガ茲ニ取消サレマス、サウスルト第九條ノ規定ニ依リマシ

テ、破産ノ宣告ヲサレルコトニナル、サウスルト此和議法ニ

依ル所ノ和議ト云フモノガ茲ニ取消サレテ破産ト云フコト

ニ這入リテ行ク、和議法ニ依ッテ、或ル辨濟ヲ受ケル事ニナリ

マス、サウスルト破産ガ行ハレタル時ニ如何ナル額ノ權利ヲ

行使スルカ、配當ヲドウスルカ、ソレカラ其間ニ特ニ擔保ヲ

供シタルコト云フ者ニ付テハ、之ヲ無効ニスルコト云フコトガ

アルノデアリマス、其意味デ六十七條ノ規定ヲ準用ス

ルコト云フコトニ致シタル譯デアリマス、ソレカラ八章ハ罰則

デアリマス、是ハ一體刑事ノ專門ノ政府委員ニ於テ説明ヲ

致スベキ筈デアリマス、實ハ午前中ニ政府委員ニ於テ説明ヲ

ノ罰則ト略シ、其後ヲ一ニシテ居リマス、ノデ、便宜上私カラ

説明ヲ致スコトニ致シマス、八章ハ丁度破産法ノ三百八

十條ニ先ヅ該當スルヤウナ規定デアリマス、管財人、監査委

員、整理委員等ガ賄賂ヲ取ツタル場合ノ規定デアリマス、其系

統ハ矢張三百八十八條ト全ク同一デアリマス、六十九條ハ賄

賂提供者ノ刑デアリマス、是モ矢張三百八十一條ト全ク同

様ノ規定デアリマス、ソレカラ和議ノ七十條ハ此案ニ依リ

マシテ、説明ノ義務ヲ負ハサレテ居リマス者ガ、故ナク説明

ヲシナカッタ、或ハ虚偽ノ説明ヲシタル場合、矢張制裁

ヲ加ヘル必要ガアリシテ茲ニ罰則ガ設ケラレタ次第デアリ

マス、是ハ三百八十二條ニ該當スル規定デアリマス、刑モ同

様ニナッテ居リマス、ソレカラ附則ノ第一項ハ是ハ御説明ヲ

申スマデモナカラウト思ヒマス、ソレカラ第二項ハ和議手

ルニ付テハ相當準備ヲ要セラレルノデアルカラ相當ナ期

限ヲ置カナクチャナラヌト云フ御趣意デアリマス、或ハ

何カ豫算上ノ關係デモ付イテ來ルノデスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 是ハ午前中ニ他ノ政府委員ガ

一通リ御説明申上ゲタルデアリマス、此案ヲ實施イタシ

マスルニ付マシテハ、既ニ今日マデ案ノ時代ニ於キマシテ

モ、裁判所等ニハ研究ヲ爲サシメタルノデアリマス、ケ

レドモ、更ニ是ガ愈々、案ガ成立チマスレバ十分ニ監督官廳

ニ於キマシテ研究ヲ致シシメルコトニ盡力ヲサセルコトニ

致シマス、サウシテ大體施行上差支ノナイマデニ研究ヲ遂

ゲマシテ、然ル上デ之ヲ實施スルコト云フコトニナリマス、

ラ相當ノ日子ハ掛カルモノト思ヒマス、ソレカラ豫算ノコ

トニ付キマシテハ別ニ此兩案ニ付マシテハ唯今ノ所關係ハ

無イト思ヒマス

○菅原通敬君 ソレカラ附則ノ第二項「和議手續參加ハ時

效ノ中斷ニ關シテハ之ヲ裁判上ノ請求ト看做ス」ト云フコ

トハ何カ附則ニ這入ルベキ性質ノモノデナイヤウニ思ヒマ

ガ、矢張附則ニ掲ゲラルルコトガ是ハ相當ナ場所ナノデス

カ

○政府委員(池田寅二郎君) 此和議手續其モノ、中ニ入レ

ベキ性質ノモノデモアリマセス、附則ニ置カレルヤウナ

コトニナッタル譯デアリマス

○菅原通敬君 私ナドノ考ヘデハ附則ナドト云フモノハ唯

一時ノ經過法ノモノヲ掲ゲラルルコトガ本來ノ形式ダラ

ウト思ッテ居リマス、サウ云フヤウナモノハ和議法ノアル限

リイッデモ有效ニ適用セラレテ行カナケレバナラヌ譯デア

ルカラ、寧ロ或ハ總則ノ中ニ這入ルカ、和議手續ノ中ニ這入

ルカ、ドッチカ本文ノ中ニ這入ルカ方ガ適當ナヤウニ思フ

○政府委員(池田寅二郎君) 寧ロ規定ハ民法ノ規定ニ屬ス

ルノデアリマス、特別ニ是ダケノ法律ヲ作ルト云フノモ可

笑シカアリマス、サバト云ッテ是デ以テ民法ヲ改正スル

ノモ如何ト云フノデ、結局附則ニ出サシタルコトト思ッテ居

マス、隨分附則ノ中ニハ色々規定ガアリマス、破産法ノ中

ニハ或ハ商法ノ規定ガアッタヤウニ思ヒマス、致シマスガ

……

○委員長(伯爵松平賴壽君) 他ニ御質問モゴザイマセスデ

スカ……ソレナラ是デ質問ハ今日デ打切りマス、今日ハ委

午後四時四分散會

出席者左ノ如シ

伯爵 松平 賴壽君

松室 致君

河村 讓三郎君

政府委員

男爵

矢吹

省三君

藤田

四郎君

加太

邦憲君

菅原

通敬君

司法次官

山内

確三郎君

司法省民事局長

池田

寅二郎君

司法省參事官

三宅

正太郎君

司法事務官

宮城

長五郎君

大正十一年二月十五日印刷

大正十一年二月十六日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局